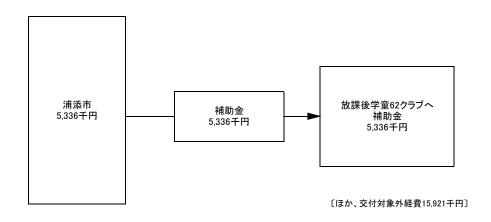
市町村名		浦添市	ī												
	,	令和6年原	度沖縄振興特 別	別推	進交付	金事業(市町村	(付	検証	<u>_</u>	- - [-	公表用]		
事業番号 · 事業名		1	ひとり親家庭等	手放課	後児童クラ	ブ費支援事	業		新•沖縄2				第4章	章−2−(1)ー(ウ)
721		ļ			事業実施	△和 / /	年度~令	- £ ⊓12	基本計	画該	当箇所	貧困物	犬態に	こある子	供への支援
担当部課名	こど	も未来部この	ども政策課		(予定)年		年度 沖縄振興基本 該当箇所					1)			
事業内容			ひとり親家庭の利用者 3分を引いた金額(保育				合に補助る	を行う。	。低所得 <i>0</i>)児童	養手	当受給対	象者。	とする。	利用料からお
効果発現年度		■当年度	□後年度(年度)										
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助]負担		の他			D7./T	<u> </u>			о <i>с</i> - ф		
	_	(a) 当初予算	R4年度	7,560	R54	<u>∓度</u> 7,560	R6年度		6,615		R7年	<mark>度 F</mark>			8年度
	予算			5,910		5,910			5,910						
	の	(c)增減額(b-	-1	1,650		-1,650			-705						
予算額・	状況	(d) 繰越額		0											
執行額 【単位:千円】		A. 計 (b+d)	5	5,910		5,910			5,910						
(「交付金」+	_ I	3. 執行済額	5	5,549		5,656			5,336						
「市町村負担」 ペース)	「市町村負担」 うち交付金充当額		<u>a</u> 4	4,439		4,524			4,269	4,269			-		
		文年度繰越額) (93.9%		95.7%		90.3%							
	予算	草の状況の説明	当初見込みより補千円)が生じた。	助金	申請が下回 [.]	ったため減客	頁補正(70	05千円	引)を行った	が、	各学童グ	ラブの実	績報	告の結	果、不用(574
										\±					
		R6活動	b目標(指標)							莲.	成状況			<u> </u>	
						R4年度			R5年度		R6年度				
	∓ 11 ⊞ :	料からむわつは	等の実費負担分を引	1.1+-	目標	(補助の	実施)	(補	輔助の実施	Ē)	(補	助の実施)	()
			0円を補助する	U 1/2	実 績 補助の実施			ż	#助の実施	サの宝体	助の実施				
活動目標					大 恨	で用め」の	大心	Ti	用めりの大爪	3	THI	列の天心			
イ					目標	()	()	()	()
				=	実績										
	達成状況説明	利用を希望	₫し申請したすべて <i>0</i>	の保証	雙者への補	助を実施し	<i>t</i> =。								
		R6成身	具目標(指標)			基準値 (年度)	F	R4年度	Ę	R5	年度	R	6年度	Ę	目標値 年度)
	ひとり	J親家庭等への	学童クラブ費の減免に	こつ	目標	() (80%) (8	0%)	(30%)	()
	ひとり親家庭等への学いてアンケートを取り、 繋がっているかを確認		し、負担軽減や就労支		実 績			93.40%		10	00%		100%		
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	;指標 】		-	目標	() () ()	()	()
					実 績										
	進捗状況説明	事業利用者	へのアンケートの結身	果、回:	答者全員が	負担軽減に	つながっ	ている	・ と回答。 ま	₹ <i>†</i> =`.	支援の糺	*************************************	みら	れた。	•

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	取組の検証		引き続き、必要な人が申請できるよう学童クラブとの連携も含め、広く周知を 行っていく。
1			

市HPの情報発信に加え、学童クラブから保護者へ広く案内していただけるよう依頼を行う。今後も事業継続を継続し、負担軽減を図る。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象		
費	事業費	充当額	負担金	外経費		
21,257	5,336	4,269	1,067			



I,	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
3	使金 途の の流	-	支出先の選定方法は妥当か。	○対象人数の見込を前年度を参考に算出しており、予算規模につ
J	がれ、	0	予質担模は事業内容に具合った適正な担模となっているか	いては妥当である。 ○受益者負担において、市で定めている規程に基づき補助額を決
ı	評費 面目	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	定しているため、妥当である。 〇費目・使途については額の確定時において、実績報告書で精査
ľ		0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	しており、適正である。

市町村名		浦添市														
	令和	和6年度沖	中縄振興特別推:	進交	付金	事業(1	町村	分)	検証	シー	 	公:	表用】			
事業番号 ・事業名	2		てだこ市民によるウラ	ラオソ	イ風景	づくり推進事	業			編21世紀 本計画該			第 沖縄の歴		1-(5)-イ 景観に配	慮した
担当部課名	都市建設	受部 美らまち	推進課		業実施定)年		→令和13	年度		振興基	本方針		千年:		のまちづく 3-(2)	(1)
事業内容	観光地とを図る。	こしての魅力向_	上や地域住民等が地元				県味を深	めるた	め、「シ	<u>該当箇</u> 中縄らしし		いまね	ちなみ景観			全・再生
効果発現年度	■当	<u></u> 年度	□後年度(年度))											
実施方法		接実施	■委託■輔				()								
			R3年度		R44	年度		R5年月	ŧ		R5年月	越)		R6年度		
)当初予算額	11,000			7,234			22,0	000				12,490		
	予 (b) 予算現額 7,690				7,211			17,3	22						12,490	
	の 状 (c) 増減額(b-a) 状		-3,310			-23			-4,6	78			0			0
予算額・ 執行額 況 (d) 繰越額 (d) 繰越額 (d) ※		7.690			7.211			17.3	22			6,270			12.490	
【単位:千円】	\vdash	執行済額	7,688			7,211			11,0		· ·					8,879
「市町村負担」	うち	交付金充当額	6,150	 		5,768			8,8	41			5,016			
	次年	度繰越額							6,2	70						
	執行率	(%) (B/A)	100.0%			100.0%			63.	8%			100.0%			71.1%
	予算の	状況の説明	まちなみ景観支援につ	いて、	当初見	見込みに対し	補助申記	青件数	が少な	かったた	め、3	,611 -	千円の不足	用が生	とじた。	
		R6活動目	煙(指煙)							達成	状況					
	(VIII) I IN (III IN)				R3年	度		R4年	度		R54	年度		R6年原	更	
		観計画委託業務	務の完了 8による重点地区等の	目	標	(2地区	₹)	(2地區	区)	(2址	也区)	(2地区	()
		と((仮称)前田北		実	績	2地区	<u> </u>		2地區	<u>z</u>		2均	也区		2地区	:
	②補助(:	工事)完了		目	標	(2地区	₹)	(2地區	ೱ)	(2址	也区)	(2地区	()
活動目標 (指標)	風景づく するため)まちなみ景観を修景	実	績	2地区	<u>Z</u>		2地區	<u>x</u>		2址	<u></u> ΈΣ		1地区	:
及び達成状況	િમમ ાત ક	2毎姿酒な伊会	、活用、創造する自主	目	標	(3団体	\$)	(3団(3団体) (3団体)		3団体	<u>z</u>)
		がいる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、		実	績	2団体	<u></u>		2団(*		2回	 団体		2団体	
	達成状況説明	重点地区の指 ②まちなみ景観	委託業務の完了 定に向けた素案の検討 現を修景するための支持 源を保全、活用、創造す	影につ	いては	:目標の2地区 まちづくり団	医に届か	ず、景	観地区	Σ1地区 σ.	みで	の実			-	·
		R6成果目	標(指標)	/		基準値 (年度)		R4年原	麦	R5	年度		R6年	芰		標値 年度)
	①-1 景行	観計画委託業務	務の完了	目	標	() (実施)	(実	施) (実施	Ē)	()
		区等の計画策定 回整理事業地区	業務(浦添前田駅周辺)	実	績			完了		完	:了		完了	,		
	②助成会	· 全申請件数		目	標	() (7件)	(14	件) (7件)	()
成果目標			*・石張り及び生垣等の		績			5件		10	件		1件		+_	/
(指標) 及び進捗状況	況 ③地域の歴史や文化に対		対する興味がわいた 加者に対するアンケー	目	標	() (80%)		上)	(80%	80%以上)		80%以	上)	()
		を検証する。	実	績		90%			9	99% 97%		97%			/	
	進 世 世 世 世 表記 (1)-1景観計画委託業務については、目標どおり(仮称)前田北地区の重点地区指定に向けた素案の検討及び作成、都市計画変更図書(用途地域の変更)(案)の作成を実施した。 (2)まちなみ景観を修葺するための支援については、景観地区の1地区において、赤瓦葺き・花ブロック等工事及び石張り・生垣等の工事。 事1件で計1,719千円の実績となっており、目標に到達することは出来なかった。 (3)地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり団体等への支援については、開催された活動の参加者からは目標を超える満足度を示すアンケート結果が得られた。歴史ガイド参加者(516人/令和6年度)															

・シンボルロード・都市モノレール沿線地区について、浦添グスクの麓に相応しい、かつ沖縄らしい美しいまちなみ景観形成を推進するためには、更なる景観 施策の検討を行う必要がある。そのため浦添前田駅周辺地区の景観地区指定 に向けて、関係権利者との合意形成を図りながら都市計画変更等の手続きを進 めていく必要がある

まちなみ景観を修景するための支援については、今年度助成金申請件数の目 標達成がならなかったが、沖縄都市モノレール延長に伴う県道浦添西原線の拡幅工事の影響により、沿線建物の建替え工事が今後も続いていく事が見込まれ 幅工事の影響により、沿線建物の建替え工事が今後も続いていく事が見込まれ な支援を行う。またコロナ過等で活動休止した団体には、活動が再開出来 ていることから、今後も建替え工事への対応が行えるよう適切な予算措置を行う るよう引き続き働きかけを行っていく。 必要がある。

っている。 ・まちづくり活動団体の自主的な活動を支援することで、地域住民及び来訪者等 が地元の歴史並びに文化に対する関心が高まっていくと考えられる。また活動 休止団体については、活動再開に向けた取り組みを継続して行っていく必要が ある。

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

シンボルロード・都市モノレール沿線地区については、引き続き、関係機 関及び地域住民の理解と協力を得ながら浦添前田駅周辺地区の都市計 画変更手続きを進めるほか、その他様々な景観施策の充実を図る。

・まちなみ景観支援については、建築計画を事前協議で確認し、景観形成 基準に適合した建物計画となるよう誘導を行うことや必要な予算の確保に 努める。

・まちづくり活動支援については、自主的活動を行う団体を対象に継続的

今後の取り組み方針

風景づくり推進調査業務委託(シンボルロード・都市モノレール沿線地区等)については、令和6年度に検討した内容を取り纏め、浦添前田駅周辺地区の景観地 区指定及び用途地域の変更に向けて、都市計画変更手続き等を行う。

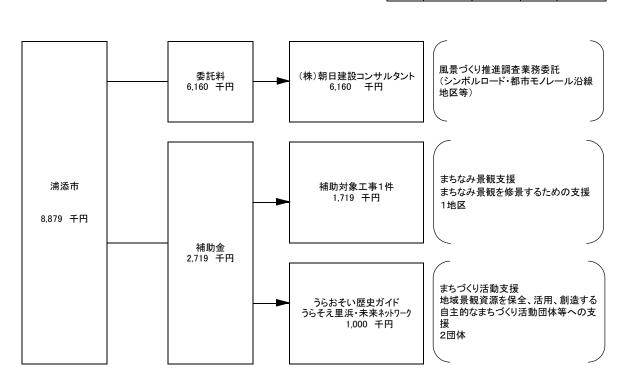
・景観向上行動計画改定委託業務については、令和5,6年度に取り纏めた行動計画に基づき関係機関等との連携・協力を強化しながら、「沖縄らしい美しいまち なみ景観」の保全・再生・創出を図っていく。

・まちなみ景観を修景するための支援については、当該支援を継続的に行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成推進に務める。

・まちづくり活動団体等の支援については、当該支援を継続的に行うことで、地域における歴史・文化への興味及び認識度の充実を図るとともに、満足度の検証 を行う。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
8,879	8,879	7,103	1,776	



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
ì	支金金の	0		○委託については、浦添市契約規則を基に入札参加資格者にて指名競 争入札を行い適切に選定されていると考える。
の流 点れ 検		0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	ライルと110 回りに返足されているとうなる。 のまちなみ景観支援について今年度は見込みに対して補助申請件数が 少なかったため不用が生じたが、事業内容に見合った予算規模で事業
1	文 字費 西目	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	を執行できており適正であったと考える。 〇受益者は住民や市民活動団体等であり、市負担として妥当である。
ľ		0		○費用・使途について、事業目的に必要なものに限定されており適正で あると考える。

市町村名				浦添市														
	ŕ	計	<u> 1</u> 6	年度	中縄振り	具特別推過	進交	付金	主事	業(市	町村	分):	検証	シー	卜【红	表用】		
事業番号		3				浦添街	光振	興事第	ŧ				新·沖	編21世	紀ビジョン	穿	94章-3-	-(2)-ウ
・事業名														計画該		多彩かつ	質の高	い観光の推進
担当部課名	市民	部	経済	文化局	観光振興	課		業実施定)年	字版 1) 年度 平成29年~令和13年			沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ −1−(1)			
事業内容	テンツ	ソを	活用	した観光		。さらに、東京												、既存観光コン 促進事業を実
効果発現年度		当	年度		□後	年度(4	年度))										
実施方法]直	接実	施	■委託	口補具	助	I	□負:	担	□そ	の他	()				
		_			R	2年度		R3	年度			R4年度	-		R5年原		ı	R6年度
	予	H		予算額		23,400				21,500			18,86			17,531		21,983
	算	H		現額		23,400				21,500			18,86	_		29,513		31,923
	の状) 瑁洞	tag(b-a)	0				0				0		11,982		9,940
予算額 · 執行額	況	H	計()			23.400				21.500			18.86	36		29.513		31.923
【単位:千円】		<u> </u>				22,129				21,335			18,69	-		29,512		28,429
(「交付金」+ 「市町村負担」	B. 執行済額 22,129 うち交付金充当額 17,703							17,068			14,9			23,609		22,743		
ペース)	次年度繰越額 執行率(%)(B/A) 94.6%																	
								99.2% 99					1%		100.0%		89.1%	
	予算の状況の説明 シャトルバス担当者のJ 執行率は89.1%であり、													こために	不用額が	が発生した。		
	達成状況																	
	R6活動目標(指標)									 R3年度			R4年月			 5年度	Т	 R6年度
						日	標	(120)	(120) (120)	
	浦添PR(Web)120件					_	績	`	145			141		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	150	/	179	
							()	(2回)	() (2回)		
	プロ野	野球	キャ	ンプファン	>誘客イベン	ノト2回	目標 (2回)			\	20			20				
活動目標								績		2回								2回
(指標) 及び達成状況	PRイ	ベン	/ ት 1[1			目	標	()	() (1回) (1回)
							実	績								10	1回	
	4冊 半計・	سدر ۲	k II. i	バスの運	∕ ∓		目	標	()	(()			実施)(実施	
	₩ 1 1	- 1	יעניו	への足	11		実	績							実施		実施	
	達成状況説明		・観り 【プロ ・プロ	野球キー	レサイト「うっ ャンプファン 式戦やファン	らそえナビ」でで 誘客イベント】 レ感謝デー202			行い、	春季キャ							_	
				R6成果I	目標(指標)				(基準値 年度)		R4年度	麦	R5	年度	R6年	度	目標値 (年度)
	10	٠		88 医产业人			目	標	()	(70	00,000	人)	(631,	550人)	(482,00	00件)	()
	ポータルサイト閲覧数 482,000件					実	績			40	02,170	人	132,	723人	374,80)1件		
成果目標					ファン誘客		目	標	()	(37,000		人)	(34,0	000人)	(39,00	0人)	()
(指標) 及び進捗状況	39,00	プロ野球春季キャンプファン誘客 39,000人以上				実	績	/	35,697		5,697.	7人 28,373人		373人	35,733人			
	進 ・観光ポータルサイト閲覧数】 ・観光ポータルサイト「うらそえナビ」への閲覧数の集計を行った。 R5年度8月までは、ポータルサイト訪問者数を測定していたがGoogleアナリティクスの仕様の変更に伴い集計できなくなったため、R 年度はポータルサイト閲覧数を集計している。目標には達しなかったので、PV数増加につなげる対応を心がける。 【ブロ野球春季キャンブファン誘客】 ・春季キャンプ約1ヶ月間の来場者数の計測を行った。球場のある本市体育施設の工事に伴う駐車場や会場周辺の賑やかしへの制 限が昨年度に比べ縮小したため来場者数は増えたものの、目標値には達しなかった。										ったの る本市	で、PV 体育が	/数増加 施設のコ	コにつな L事に伴	げる対応	を心がける	0.	

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

മ

棆

【ポータルサイト閲覧数】

「うらそえナビ」による情報発信ついては目標値の120件を上回る179件の情報 発信ができたが、閲覧数の目標には届かなかった。1月から2月については昨年 度を上回らなかったものの4万を超える閲覧数となっており、春季キャンプ関連 記事等で有効的にPRできた。

【プロ野球春季キャンプファン誘客】

今年度も引続き体育施設の工事のため制限され、屋内練習場やブルペンの見 学禁止等の影響もあり目標人数には達しなかった。シャトルバス運行も4000名を超える来場者が利用し、会場に足を運びやすい環境づくりができたが、もっと 早めにチラシやポスター、SNSを活用した周知が必要と考えられる。

【ポータルサイト閲覧数】

・観光シーズンの8月から10月の閲覧数が想定より伸びなかったため、観光シーズンの8月から10月の閲覧数が想定より伸びなかったため、観光シーズン前に来訪者の検索に繋がるような記事を作成し、認知度向上 を意識した記事制作を行う必要がある。

【プロ野球春季キャンプファン誘客】

次年度も体育施設が引続き工事のため利用制限が掛かるため、会場周 「双午及む仲月旭欧が引続と上事かり、四村川町川駅が13月からにな、云南川 辺やシャトルバス運行の事前周知を徹底し、来場者が足を運びやすく満 足度の高いキャンブ見学となるような取組みが必要となってくる。また、 ファンやそれ以外の方にも興味を持っていただける企画、イベントを検討 LPRできる機会で継続的に情報発信を行っていく必要がある。

今後の取り組み方針

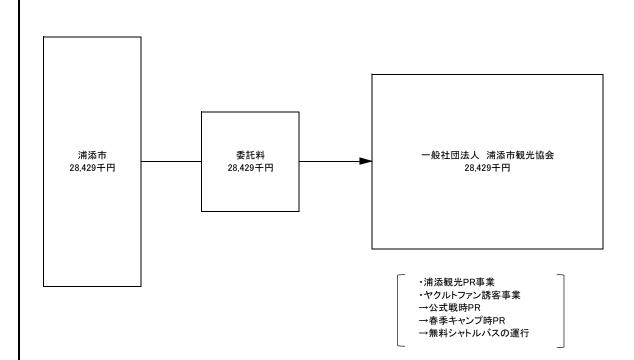
【ポータルサイト閲覧数】

春季キャンプが行われる2月にかけて大きく閲覧数が伸びるため、春季キャンプ事前からこまめに情報発信を行い、春季キャンプ情報と関連した市内情報も発 信する。春季キャンプ以外においても観光シーズン前に来訪者の検索に繋がるような記事制作やSNSと連携した情報発信を行い、ユーザーニーズを満たしたコンテンツの提供、多数の人の目に留まるようなオリジナリティのあるページ更新をしていく必要がある。

【プロ野球春季キャンプファン誘客】 ・プロ野球春季キャンプファン誘客については、公式戦やファン感謝デー等での継続的な情報発信をする。今後も誘客に繋げられるような企画やイベントを検討し ていく必要がある。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
28,429	28,429	22,743	5,686	



Pel Pel	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
3	を金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	・契約は地方自治法施行令第167条の2第1項第6号を根拠とした随意 契約で行っており、当該事業者は市内事業者との連携体制を有している			
点核	āれ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	とともに、ヤクルト球団との連携体制ももつ事業者で本業務を委託する にあたって妥当である。			
かから	費	_		・シャトルバスの人件費やバス賃借料等が見積りから下回ったため、不用額が発生し事業執行率は89.1%となった。			
	•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・・費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか、 確定時にいずれも書類の確認を行い、適正であった。			

市町村名		浦添市														
	f	7和6年度河	中縄振興特別推	進交	付金	事業(市	可	村分)	検証	シー	卜【公	表	用】			
事業番号		4	未来へ翔たく	(太陽·	っ子育	成事業			新-沖	4編21世紀	見ばジョン		第4	章-5-	(2)-ウ	
・事業名										本計画該		個性			立に向け	
担当部課名	指導	部学校教育課			業実施 定)年		!4∼R	13	沖爺	現場 表表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表				Ⅲ −3−		
事業内容	り、児	皇生徒に幅広い社		を図る	がスポーツ・文化活動の全国大会等には を図る目的と保護者の負担軽減を図るが 援する。											
効果発現年度		■当年度	□後年度(:	年度)	١											
実施方法]直接実施	□委託 ■補	助	[]負担		その他	! ()						
			R2年度		R3 ⁴	年度		R4年	度		R5年	变		F	76年度	
	予	(a) 当初予算額	10,742			14,844			8,5				,594			9,089
	算	(b) 予算現額	5,553			8,594			8,5				,612			9,089
	の状	(c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	-5,189			-6,250				0			-982			0
予算額 · 執行額	況	(d) 裸越額 A. 計(b+d)	5.553			8,594			8.594			7	.612	9.089		
【単位:千円】	-	A. al (D+u) B. 執行済額	704	· ·						20			.447			6.799
(「交付金」+ 「市町村負担」	ļ ,	5. 秋日の昭 5. ち交付金充当額	563			3.677				76			.357			5,439
ペース)	ž	欠年度繰越額				•										
	執行	j率(%)(B/A)	12.7%	53.5% 89.8%							7	1.6%		-	74.8%	
	予算	章の状況の説明	が、令和4年度以降は	いては、新型コロナウィルスの影響により大会が中止となることが多く、執行率が低降は開催される大会も増えた。令和5年度から派遣者数は増加しており、令和6年度ため、交付対象経費(航空運賃)が増加した。今年度は1月以降の特に団体の大会だした。								F度は	前年度を	上回		
										達成	状況					
		R6活動目	標(指標)	R3年度					R4年	度	R	5年度	Ę		R6年度	
	旧 41.	上人 怎麼士!!!	144-	目標 (派遣支援の) (実施) (遣支援 実施	その)	()I	〔遣支援σ 実施)	
	宗外	大会派遣支援の実	池	実	績	派遣支援の 実施						遣支援の			養支援σ 実施)
活動目標 (指標) 及び達成状況				目	標	() () () ()
XU ZWWW				実	績											
	達成状況説明	スポーツ・文々月から令和7	比活動において、全国 年3月までに延べ346			金の交付を行			費用のう	ち、航空	『運賃の	半額	を上限	{ と して		
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)		R4年	度	R54	年度		R6年度	Ę	目標個 年度	
	ること	で新たな課題や気	ート『県外大会に参加す 『づきを得られた(視野・)の保護者の割合が	目	標	() (80%	6)	(8	0%)	(80%)	()
		以上。	・7体設省の引占が	実	績			999	6	9	8%		100%		/	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	5指標】		目	標	() ()	()	()	()
	進		実	績										/		
	连	申請した補助を標とする「県外なった。	対象児童生徒(延べ346: 大会に参加することで新													

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)								
	検証		アンケート結果より、県外派遣を通して児童生徒の意識向上が見て取れることから、本事業の必要性は高いと考えられるため、より多くの児童生徒が活用できるための検討が必要。								
ı											

対象者の保護者アンケートについて、検証の精度を高めるため、アンケート内容等を吟味しながら引き続き実施していく。 昨今、さまざまな分野で活躍する児童生徒が増えているため、学校等の関係機関へニーズ調査を行う等、どのような競技の大会が開催されているか情報収集 を行い、必要に応じて交付規程見直しの検討を行う。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
10,109	6,799	5,439	1,360	



児童生徒の県外派遣における航空賃の半額

【補助内容】 野球・水泳・バスケットボール・バレーボール・ レスリング・サッカー・ハンドボール・相撲・空手 道・剣道・水球・体操等

【ほか交付対象外経費】 3,310千円(市負担分)

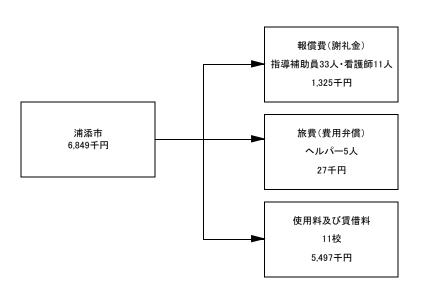
	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使途の点検	o O		〇当該事業補助金交付規程に基づき、交付決定しているため 当である。				
	in 0	予管相模は事業内容に見合った適正な相模となっているか	〇派遣対象人数の見込を事前に把握するのは困難であるが、 今年度の予算規模については概ね適正な規模と考える。				
(評価			〇受益者負担において、市で定めている規程に基づき補助額を 決定しているため、妥当と考える。				
IIII	. 0		○費目・用途については額の確定時において、実績報告書及び 領収証で精査しており、適正である。				

市町村名			浦添市														
	f	和	6年度	沖縄振興特	別推	進交	付金	事業(計	町村	分):	検証	シー	卜【公	表用】			
事業番号 ・事業名		5			自然体	験学	習事業	Ę			新・沖	遇21世紀	记ビジョン	第4	4章-5-	(2)-ウ	
- 争未有											基本	計画該	当箇所		伸ばし、自立に向けた資 力を伸ばす教育の推進		
担当部課名	指導	部学	校教育課				業実施定)年原		~令和13	年度	沖縄	振興基 該当箇			Ⅲ-3-(2)		
事業内容	(集団での借泊や)		官泊や沖綿	独自の自然の中	で行う様	長々な	体験活										
効果発現年度		当年		□後年度		年度)											
実施方法		直接	実施 	□委託	□補)	DE在由	F		26年年			
		(a) ≝	·····································	R2年度	26,448		R3±	<u>∓度</u> 12,638	-	R4年度	₹ 4,83	38	R5年度	6,279		R6年度 8,101	
	予		算現額		0			12,638			4,83			5,259		6,856	
	算 の 状況 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d))	-26,448	0		0				0		-1,020		-1,245		
予算額・																	
執行額 【単位:千円】				0			12,638			4,83	88		5,259	6,856			
(「交付金」+	∥ ;		行済額		0			12,336			4,60			5,259	6,849		
「市町村負担」 ベース)	次年度繰越額		•	0	<u>)</u>		9,868		3,6		3		4,207		5,479		
	<u> </u>		%)(B/A)	#DIV/0	!			97.6%			95.2	2%		100.0%		99.9%	
	予算	草の状	況の説明	市内小学校(1	1校)で計	·画ど	おり執行	行することが	でき、適	正であ	った。						
												達成	状況				
	R6活動目標(指標)						R3年	Ė		R4年原		<u> </u>	 5年度		 R6年度		
					110-4-15			支		K4+-);	Ž.	r.c) 牛皮		K0平度		
				での集団宿泊や		目標 (11校11回]実施)	(11	校11回	実施)	(11校1	1回実施)	(11	校11回実施)		
			マンフラティン学校の5年	ſヤー等の体験活 F生	到					11校1	1回実施	11	校11回実施				
活動目標											施)						
(指標) 及び達成状況						目	標	() () (() ()	
						実	績										
	<u>,+</u>																
	達成 ・全11校で実施した。 ・集団宿泊や登山、ナイトウォーク うとする意識が芽生えた。 ・1214名の児童が参加した。				等を行	iうこと	で、沖縄特	有の自然	然や生	とき物で	上触れる	合い、児童	童に郷土 <i>の</i>)自然	を大切にしよ		
			R6成果	目標(指標)				基準値 (年度)	F	R4年度	₽.	R5:	年度	R6年J	变	目標値 (年度)	
	白鉄	体験を	. 本 1 日 辛	のよりよい人間	見びた銃	目	標	() (9	90%) (909	%)	(90%)	()	
	くカ(協調性		よ態度)が向上した					+								
	7 0 -	-1207	B) L 00 /	~~~		実	績		!	93.00%	6	10	00%	100%	Ó		
成果目標 (指標)						目	標	() () () () ()		
及び進捗状況						—	4 =		1								
						美	績										
	進捗状況説明	・引 は 「自 力	、すべての	小学校に実施した学校で「自然体」で 学校で「自然体」で学級・ では、では、できる。 では、できないでは、 では、できないできる。 では、できないできる。	食学習を 学年にお	通して	、決ま 児童の	った友達だ(ナでなく、 良くなった	多くの た (の:	仲間と	関わりな	ながら協力な同答をし	して活動す	⁻ る姿か た、「主	「見られた」 : 体的に考え自	

I		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	取組の検証	・児童対象の意識調査(事前・事後)のほか、児童の変容の度合いについて、よ いを知めた視点からの指揮を捉えるため、教員対象の調本を行っている。	・雨天時に実施できないプログラムの代替案について、より効果的な内容を検討する必要がある。 ・利用施設予約の関係で、学校が希望する日程で実施できなかったとの反省があった。開催時期について検討を行う必要がある。 ・「エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業」の良さを継承しつつ「自然体験学習事業」として外部環境の変化にも柔軟に対応できるよう利用施設の選定も含め、プログラムの検討を行う必要がある。

・自然体験事業に関する事後アンケート(全校で実施)から、事業の有効性を見取ることができるため、引き続き、自然豊かな環境の中でよりよい人間性を形成しようとする態度(社会性)を身につけるとともに、自分の考えを深めたり、広げたりする協同的な学びができる児童の育成を目指す。 ・体験プログラムや実践時期について、学校の実態に即した活動が行えるようにするために、利用施設と連携し、複数箇所から体験活動の場所を選択するように

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
6,849	6,849	5,479	1,370	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の流れ	0		○バスの使用料及び賃借料は、一般競争入札を実施しおり適正である。					
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	の事業執行率は99.9%であり、適正な規模である。 ○事業執行率は99.9%であり、適正な規模である。 ○宿泊先のシーツ料金、食費については受益者負担として					
評費価目	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇個泊元のシーノ料金、良賃に Jいては交益有負担として おり、適正である。 1○謝礼金、旅費は浦添市予算規則、浦添市職員の旅費に					
-			関する条例に基づき支払っており適正である。					

市町村名		浦添市											
	2	令和6年度	沖縄振興特別推	進3	Σ付϶	金事業(市		分)検	正シー	ト【 2	公表用】		
事業番号		6	学力底上	げ推進	主支援	事業		新·汝	沖縄21世 紀	日ビジョン	第	4章-5-(2)-ア
- 事業名					業実施				本計画該		確かな学力 育の充実	催かな学力を身に付ける学校教 育の充実	
担当部課名	指導語	部 学校教育課			定)年		·令和13年	连度 沖	選振興基 該当箇			Ⅲ-3-(1)
事業内容	置する	3 .	た個々の学習指導によ			上げを図るたら	か、各小中	『学校へ学	单校教育₃	支援員を2	22名、日本語	·教育支	援員を3名配
効果発現年度		Ⅰ当年度 ——————	□後年度(年度)									
実施方法		直接実施	□委託 □補	助]負担	口その)				
		/-) W tn Z 答	R2年度		R3 ⁴		R4	年度	200	R5年原		R	6年度
	予	(a) 当初予算額	57,810	-		51,096		54,			56,046		60,010
	算の	(b) 予算現額 (c) 増減額(b-a)	57,810 0			51,096		54,	0		56,046 0		60,010
	状	(d) 繰越額				0	0				0		-
予算額 · 執行額	況	A. 計(b+d)	57.810			51.096		54.0	396		56.046		60.010
【単位:千円】	E	<u> </u>	60,457	 		49,310		48,			52,064		68,652
(「交付金」+ 「市町村負担」	3	ち交付金充当額	48,365	 		39,447		38,	559		41,651		54,441
ベース)	2	欠年度繰越額											
	執行	率 (%) (B/A)	104.6%			96.5%		88	.1%		92.9%		114.4%
	予算	草の状況の説明	学校教育支援員・日本	語教育	育支援	員ともに当初の	の計画通	り、配置す	⁻ ることが [.]	できた			
	R6活動目標(指標)								達用				
				R3年度			R4年	度	R	5年度		R6年度	
	•小学	交教育支援員 学校14名(各校1名~2名) 学校8名(各校1名~2名)			目標 (21名) 実績 21名) (名)	22名 22名		(22 名)
活動目標						2141							
(指標) 及び達成状況		語教育支援員		目	標	(3名) (3:	名)	(2名)	(3名)
	•3名			実	績	3名		3:	名		2名		3名
	達成状況説明	成 組んだ。具体的には、①全国・県の 状 チングによるきめ細やかな学習支持 理解度や定着度を高めるため、放 説 ・日本語力が十分でない児童生徒				等の正答率3 しのため、2 別指導・学習 学校生活に関	0%未満 2名の学 習支援を 訓染み、名	の児童生 交教育支 行った。 各教科等	徒を把持援員を配 接員を配 や教育に	屋し、学紀 記置し効: 活動に日	級・教科担信 果的な活用 本語で十分	£とティー に努め	ーム・ティー た。②学習の
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)	R4	年度	R5:	年度	R6年	度	目標値 (年度)
	の平均	均正答率の差を以		目	標	()	(+	0.2P)	(+0	.2P)	(+0.2P)	()
		情指標】 ☆校:算数 +0.2ポ	イント以上	実	績		_	0.2P	-0	.7P	+0.7	Έ	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	の平均	均正答率の差を以	≦において、県と本市と し下のとおりとする。	目	標	()	(+	0.2P)	(+0	.2P)	(+0.2P)	()
	・中学	;指標】 □校:数学 +0.2ポ	イント以上	実	績		-	2.2P	-0.	25P	+0.6	P	
	進捗状況説明	・学校教育支持 努めた。「わか ・県学力到達」 ・中学校では、	援員等を配置し、各種学 へった、できた」を実感さも 度調査の県平均との比車 中1数学+1.0P、中2数	±、学習 交で、/∫	習意欲 №5算数	を喚起するこ t+0.9P、小6	とに努めが 算数-0.2F	た。放課後 Pとなった。	の補習等 小学校 ^エ	で学習を	を補うよう努る は県平均を	わた。	

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

組 検

証

・正答率30%未満の割合を比べてみると小6(13,4%)、中3(32.7%)となっており、学 カニ極化の課題が残った

・学校教育支援による補修指導等の学校差もあり学習の理解度や定着度に大 きな差が見られる。

・学校教育支援員について、より良い人材の確保に向け、市の広報やホームページ等を活用し公募を行っているが、応募する方が少ない現状がある。 ・日本語教育支援員については、3名を配置したが、日本語教育支援対象児童

生徒数の在籍校が多くなり、指導時間の確保が十分できていない状況である。

・各種学力調査等における正答率30%未満の支援対象児童生徒を把握し

学習のつまずきや支援内容を常に確認し、学びの育ちを検証する。 ・成績下位層の児童生徒の学力を底上げし中位層に押し上げるとともに、既 習事項の学び直し等を含め基礎・基本の確実な定着を目指す。そのため、さ らにきめ細かな学習指導と支援を行う必要がある。

・学校教育支援員の人材確保のため、公募に当たっては、教員免許所持 者、教育関係業務経験者を優先採用することや退職教員に教育委員会から 直接、声かけを行うなど、積極的な人材確保に努める。

・日本語教育支援対象児童生徒への継続的で効果的な支援を行うため、勤 務校の組み合わせや、時間割り振り等を含め柔軟に対応していく。

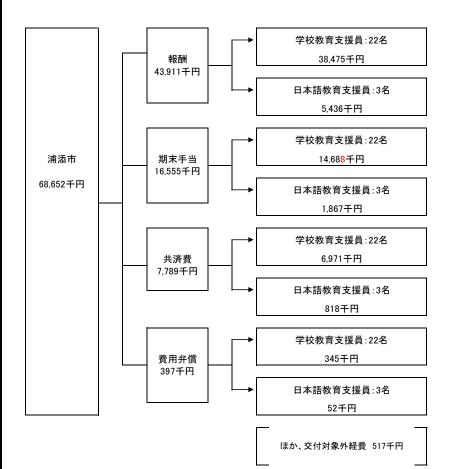
今後の取り組み方針

- 各学校において、成績下位層の底上げ及び学びの育ちを検証するため、各種学力調査等における正答率30%未満の支援対象児童生徒の把握を行い、学習のつ
- ・合子校において、成績「位層の底上に及び子びの育らを検証するにおいる性学プリ調査等における正各学30%不満の支援対象児童生徒の把握を行い、子音のまずきや支援内容を学級・教科担任と常に確認し、学校教育支援員の効果的な活用を図る。
 ・小・中学校の賞教・教学について、学習の理解度や定着度が高まるよう、学級・教科担任と学校教育支援員が連携し、放課後等の個別指導・学習支援を充実させ、自立した学習者「自学自習力」の育成に努める。また、中学校期の学力課題改善に向け、支援員増員配置の予算確保が必要である。
 ・支援員の資質向上のため、複数回の研修機会を設定し、支援員として必要なスキルを身に付けるための指導や助言を行う。また、より良い人材の確保に向け、広報やホームページ等の活用や退職教員への声かけも積極的に行う。
 ・日本語教育支援員については、多様なニーズに応えられるよう人材確保を図りつつ、継続的で効果的な配置や支援体制の見直しを適宜、行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
69,169	68,652	54,441	14,211	



学校教育支援員:22名

・各小中学校へ1~2名配置

日本語教育支援員:3名

- ・沢岻小、内間小、神森小、当山小に1名配置
- ・牧港小、前田小、仲西小、宮城小に1名配置
- ・牧港小、前田小に1名配置

	評価 評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使途の	o O	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員について、公募し担当課における面接を行い、選				
点検	n o	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	している。 ○不用額はなく、適正な予算規模であった。				
(評価	費 —	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇支援員の報酬、賞与等について、地方公務員法、浦添市 会計年度任用職員の給与に関する規則等に基づき適正に支				
ш	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	給している。				

市町村名		浦添市												
	令和	和 6 年度沖	中縄振興特別推 ³	進交	付金	事業(計	町村	分):	検証:	シー	ト【公	表用】		
事業番号	7		課題を抱える	児童:	生徒支	援事業			新·沖縄	21世紀	2ビジョン	第4	4章-5-	(2)ーイ
・事業名		ļ								計画該		豊かな心と 学校教育の	ッと健やかな体を育む 蚤の推進	
担当部課名	指導部	こども青少年	課		業実施 定)年		∓度~令 年度	3和13		長興基 亥当箇	本方針 所		Ⅲ-3-	(2)
事業内容			等児童生徒へ支援を行う 爰、小集団活動等を通じ							未然防	止及び学	学校復帰を図	図る。ま	た、個々に応
効果発現年度	■ ≌	4年度	□後年度(:	年度)										
実施方法	■直	接実施	□委託 □補	助	[□負担	□そ	の他	()					
			R2年度		R34	年度		R4年度			R5年度		F	86年度
	Z	a)当初予算額	46,268			38,278			45,203			47,574		63, 074
	算)予算現額	46,268			38,278			45,203			47,574		63, 074
	壮	b)增減額(b-a)	0			0			C)		0		0
予算額・	況 (C	り繰越額	40.000			22.272			45.000			47.574		22.274
執行額 【単位:千円】	\vdash	計 (b+d)	46,268			38,278			45,203			47,574		63,074
(「交付金」+	r	執行済額	42,703			36,535			42,167			43,541		62,595
「市町村負担」 ベース)		交付金充当額	34,162			29,228			33,733	3		34,833		50,076
		F 及 (92.3%			95.4%			93.3%	ń		91.5%		99.2%
	12413 1	(10) (2)10	02.0%							1		011070		00.270
	予算0	の状況の説明	<mark>兄の説明</mark> 臨床心理相談員が3名体制となり予算が増額した。 概ね計画どおり予算執行できた。											
	R6活動目標(指標)									達成	状況			
	NO/直到日保(日保/		傑(指傑)			R3年	度		R4年度		R	5年度		R6年度
		臨床心理相談員 教育相談員			標	(0名·6: 3名·0	- 1	(2名·6名 3名·1名			i·6名· 3·1名		3名·6名· 3名·1名)
	教育和級員 自立支援員 適応指導員 (R4年度から「適応教室適応指導 員配置事業」と統合)			実	績	0名・6名・3		2名・	6名・3名	-		3・3名・1名		6名・3名・1名
	貝配直争来」と統合)				標	(8名) ((16名)	(1	16名) (19名)
活動目標	教育相談支援員				績	8名		`	16名			16名	<u> </u>	19名
(指標) 及び達成状況					·····································	(5名		(0名)		0名)	(0名)
		相談員(R4年度 へ分離)	から「青少年巡回指導		績	5名		(0名	,	`	0 名 / 0名	(0名 /
					小貝	34			045			V 1		04
	達成状況説明	成 状 行った。 ・適応指導員1名を配置し、遊び非行・ 適応指導員 適応を促す支援を行った。				機関と連携に向の児童生	しながら 徒を対象 かで学習	情緒不 に自立 習活動	安を抱え 立支援室 や体験活	での支動を行	援や野タ テったり、	トでの体験 チャレンジ登	活動、3 を校を通	近て集団への
		り組んだ。				基準値								目標値
		R6成果目	標(指標)	/		(年度)		R4年度	ŧ	R54	丰度	R6年月		(年度)
			、相談・指導等を受けて	目	標	() (2	6.5%以	下)((23.8%	以下)	زل 18.6%	下)	()
	いない	子の割合を低減	【小字校】	実	績		11.99			24	4.4% 9.9%			
成果目標 (指標)			、相談・指導等を受けて	目	標	() (2	2.4%以	下) (19%.		9%以下) (19.2%以		下)	()
及び進捗状況		子の割合を低減	【中学校】	実	績			6.5%	19.8%		.8%	% 22.8%		
	進捗状況説明	り目標は未達/ ・小学校では関	目談・指導を受けていない 或となった。 引係機関と連携し、相談: 増加したため、相談・指:	支援へ	マ期(につなげるこ	とができ	た。 ー	方、中学					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)								
取組の検証	・社会の変化に伴い不登校の要因が複雑になり、長期化する困難ケースや相談	・戦略的な人材募集及び継続的な人材育成を図り、効果的な支援を生み出すための体制づくりを検討していく必要がある。 ・課題の深刻化・長期化などの事態悪化を防ぐため、早期に相談支援へつなげるよう努める。								
	今後の取り組み方針									

- ・市広報誌やホームページだけでなく、引き続きハローワークや求人サイト等も活用し人材募集に努める。また、採用後も相談員・支援員としてスキルアップできるよう研修等を実施し、情報共有の機会を充実させる。
- ・学校における支援体制をより強化することで不登校未然防止を図るとともに、課内相談員・支援員や関係機関と連携しながら早期対応に取り組む。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 総事業 交付対象 交付対象 市町村 負担金 交付金 費 事業費 外経費 充当額 62,599 62,595 50,076 12,519 会計年度任用職員に対する報酬 報酬 30,187千円 職員手当(期末手当) 会計年度任用職員に対する職員手当 11,792千円 (期末手当) 臨床心理相談員 3名 教育相談員 自立支援員 適応指導員 6名 3名 共済費 会計年度任用職員に対する報酬及び賞与 (報酬・賞与に係る社会 1名 にかかる社会保険料及び市町村共済 保険料及び市町村共済) 6,383千円 旅費 532千円 会計年度任用職員に対する通勤手当 浦添市 62,595千円 教育相談支援員に対する謝礼金 報償費 教育相談支援員 19名 12,281千円 自立支援室に係る体験活動実習費 自立支援室リース自動車にかかる燃料費 消耗品費(体験活動実習費) 需用費 燃料費 330千円 自立支援室に係る光熱水費 光熱水費(電気・ガス・水道 通信運搬費 自立支援室用携帯電話、インターネット接 続料及び火災保険料 自立支援室リース自動車損害保険料、 教育相談支援員に係る傷害保険料 役務費 火災保険料 自動車損害保険料 傷害保険料 (株)エムワイオート 使用料及び賃借料 (自立支援室に係る自動車リース料 (有)上田不動産 993千円 施設使用料 [ほか、交付対象外経費 4千円]

	*	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
1	使金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	│ │ │○各支援員は公募により選考・面接している。自動車リ・				
ľ	の流点れ後、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	ス契約は見積合わせによる随意契約。自立支援室ひなたは地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約。それぞれ妥当であったと考えている。				
1	点検評価。	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業執行率は95%を超えており、適正な規模であった ○費目・使途について、事業目的に必要なものに限定さ				
	-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ており適正であると考える。				

市町村名		浦添市												
	f	和6年度沖	中縄振興特別推	進交	を付る	事業(7	町村	分)検証	シー	ト【公	表用】			
事業番号 ・事業名		8	青少年	巡回指	手 真手	事業			編21世紀本計画該		子どもたち		かな育成に向	
担当部課名	指導	部 こども青少年	課		業実施 定)年		年度 沖和	開振興基 該当箇		けた地域全体の連携 Ⅲ-3-(2)				
事業内容			生しやすい公園及びがら登下校時の見守り4											
効果発現年度]当年度	■後年度(令和	07年度	隻)									
実施方法		l直接実施	□委託 □ネ	輔助	1			の他()					
			R2年度		R3	年度	F	R4年度		R5年度		R	6年度	
	予	(a) 当初予算額	46,26	-		38,278		7,7			8,128		9,997	
	算の	(b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a)	46,26	0				7,7	0		8,128		9,997	
	状	(d) 繰越額				0							0	
予算額 · 執行額	況	A. 計(b+d)	46,26	8		38,278		7,7	23		8,128		9,997	
【単位:千円】	Е	3. 執行済額	42,70	3		36,535		7,3	54		8,436		10,869	
(「交付金」+ 「市町村負担」 ペース)	3	うち交付金充当額	34,162		29,228			5,883			6,748		7,997	
	Z	次年度繰越額												
	執行	下率(%)(B/A)	92.3	%		95.4%		95	2%		103.8%		108.7%	
	予算	草の状況の説明	青少年巡回指導員5年	名を配け	置し、計	十画どおりに	執行できた	<i>t</i> =。						
		D. VT 51 17	1m / 4b 1m /						達成	状況				
	R6活動目標(指標)					R3年	度	R4年	度	R	5年度		R6年度	
	青少年巡回指導員配置数 (令和3年度までは青少年相談員配置数)				標	(5名)	(5名)	(5	名)			
					養	5 名		5 名		5	名		5 名	
活動目標	毎月第2木曜日「朝のあいさつ運動」の実施				標	(-)	` _) (12回)		
(指標) 及び達成状況					ミ 績 	-		8回			9回 	10回		
	毎月第	第3金曜日の「夜間	街頭指導」への参加		目標 ──── € 績	(-)	11[12回)		, , ,		(12回)	
	達	•計画どおり青	·少年巡回指導員5名			_ 回、見守りを:	行った。ま				12回 12回 12回			
	成状況説明	・学校側が対応 ・「夜間街頭指 ※補足:令和3	と情報共有を行い連携 5可能な範囲で「朝のな 導」は学校側と協力し 年度までは「課題を抱 に事業を実施できると	いさつ ながら える児	つ運動」 年間を 童生徒	を実施した。 通して実施し 支援事業」に	た。 た。 二青少年	目談員として 「青少年巡回	属してい 団指導員	いたが、対 事業」とし	応する児童 て事業を行	生徒の: った。	対象を広げる	
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)	F	R4年度	R5:	年度	R6年原	HZ.	目標値 (R7年度)	
		校児童生徒の要因]の中の「生活リズムの		標	() (21	.5%以下)	(21.59	%以下)	(17.1%比	下)(27.9%)	
	乱犯	・あそび・非行」の似	达 测	実	《 績			15.1%	27	7.9%	-			
成果目標 (指標) 及び進捗状況]の中の「生活リズム <i>の</i> 氏減)	標	() (23	.7%以下)		%以下)	(23.1%以	(不)	28.1%)	
	進捗状況	· 令和6年度の · 令和5年度に	実績値が令和7年10月 目標・実績値の根拠と 定されている。)	に確定					国難である				標は旧集計	
	説明	・令和5年度に	おいて、小学校「+6.4%	」、中学 	单校「+4	.4%」となり、し	ハずれも	目標は未達	或となった	t.				

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検

証

・公園遊具の使用禁止や近隣住民の苦情などにより、公園で遊ぶ児童生徒が 例年より減っている。そのため、屋内など大人の目の届かないところで遊ぶ機会 が増える状況にある。

る。 ・不登校児童生徒が増加傾向にあるため、更なる支援及び居場所の必要性がある。

・「コロナ不安」を理由に児童生徒が学校を休む件数が増加したことに伴い、学校を休みやすくなってしまった。それにより生活リズムが乱れ不登校増加につながり成果目標が未達成となったと考えられる。

・R5年度実績(R6年10月確定)より指標の根拠となる国の集計方法が変更となったため、R5年度目標に対する実績を算出することが困難となった。(目標値はR4年度に設定済み。)

・児童生徒の遊びの拠点に関する情報を収集する必要があるため、学校・ 地域と情報共有を図り児童生徒の動向の把握に向けて取り組む。

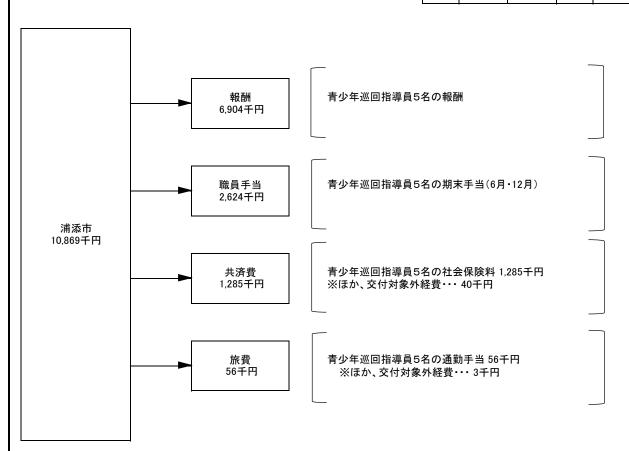
・スマホやインターネットなどの普及による環境の変化、家庭問題等により生活リズムが乱れによりハ中学校の不登校児童生徒数が増加傾向にある。不登校の背景や要因は多岐に渡るため、学校や他の支援員らと連携を取りながら早い段階から支援が必要な児童生徒と関係性を持ち、不登校の未然防止や長期化を防ぐ。

今後の取り組み方針

青少年の健全育成を推進するため、子ども達は家庭や学校だけでなく、第三者との関係性を築くことが大切である。巡回指導を通してあいさつや温かい声かけ、見守りを行いながら巡回指導員の活動を認知してもらうことで信頼関係を築き、子ども達が安心できる環境づくりに取り組む。 また、定期的に学校、警察、自治会等の地域、関係機関と連携し、遊びの拠点に関する情報など、児童生徒の動向把握に努め、環境浄化を図る。

資金の流れ





	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
ž	を金の流れ	0	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、市の任用基準に基づいて任			
J.	点れる。	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	日本日本の表別については、日の日本を学に参ういては 日している。 日本日報はなく、適正な予算規模であった。			
1	会 学 費 面目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇介田銀はない、過止なア昇焼候でのづた。 〇費目・佐途について、事業目的に必要なものに限定され ており適正であると考える。			
ľ	•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ており旭正でめると考える。			

令和 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 事業番号・事業名 9 こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業 指導部 学校教育課 (浦添市立教育研究 所) 新・沖縄21世紀ピジョン基本計画該当箇所 予定) 年度 第4章 - 5 - 1	する教育の推 (1)
**・事業名	する教育の推 -(1) 、学校教育の 6年度 100,243 86,130 -14,113
### ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	-(1) 、学校教育の 6年度 100,243 86,130 -14,113
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	。 学校教育の 6年度 100,243 86,130 -14,113
対果発現年度	6年度 100,243 86,130 -14,113
実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他() R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6 (a) 当初予算額 74,500 46,729 66,220 96,364 (b) 予算現額 74,500 52,061 66,220 93,390	100,243 86,130 -14,113
R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6 (a) 当初予算額 74,500 46,729 66,220 96,364 (b) 予算現額 74,500 52,061 66,220 93,390	100,243 86,130 -14,113
(a) 当初予算額 74,500 46,729 66,220 96,364 (b) 予算現額 74,500 52,061 66,220 93,390	100,243 86,130 -14,113
予算 (b) 予算現額 74,500 52,061 66,220 93,390	86,130 -14,113
算 (0) 7 异 50 (14,500) 52,001 00,220 93,390	-14,113
状 (1) 4日 #### (1)	06 100
予算額・ 執行額	
【単位:千円】 A. at (0+4) 74,500 52,001 60,220 93,390 R. 執行答案 73,424 49,973 65,836 92,319	86,130
「市町村負担」	68,904
ベース)	
執行率 (%) (B/A) 98.6% 96.0% 99.4% 98.9%	100.0%
予算の状況の説明 執行率は100%であり、計画的に執行できた。	
達成状況	
R6活動目標(指標)	D. 45 15
R3年度 R4年度 R5年度 R5年度	R6年度
市内小中学校16校へICT機器の整備 目標 (電子黒板:57台) (電子黒板:77) (電子黒板:75) (電子黒板:75) (電子黒板:75) (電子黒板:75) (電子黒板:75) (電子 に で まつ) (電子 に で こ で こ と で こ と で こ と で こ と で こ と に で こ	子黒板:52台 /ット端末171台)
【小学校11校および中学校5校】	- 黒板∶52台
	火端末171台
B 標)
実績	
達	
成 状 小中学校16校へICT機器の整備を行った。電子黒板+PC等について、特別支援教室へ合計52台、教師用タブレット端末に 況 計171台を整備した。	こついて、合
明 BCCC 用日標 (指揮) 基準値 DACC	目標値
R6成果目標(指標) R4年度 R5年度 R6年度	(年度)
児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機 目標 () (90%) (90%) (90%) (90%)	()
器を活用した授業がわかりやすかった」と答え	
実績 96% 97% 97%	
学力向上推進に係る児童生徒の実態調査に 目標 () (80%) (80%) (80%) (80%)	()
おける思考力・判断力・表現力の向上を示す項	
大根	
及び進捗状況 学力向上推進に係る児童生徒の実態調査に 目標 () (50%) (70%) (()
おける思考力・判断力・表現力の向上を実感し	
た児童生徒の割合:70%以上 実績 58% 64%	
進・児童生徒の「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合は目標値を達成している。内訳は、小学校児童 ・ 伊童 学校生徒で97.2%であった。	で96.7%、中
状 ・児童生徒が「思考力・判断力・表現力の向上」に向けた活用ができた児童生徒の割合は74.0%であった。内訳は、小学校 別 66.1%、中学校生徒で91.5%であった。 説 ・児童生徒が「思考力・判断力・表現力の向上」を実感した児童生徒の割合は64.0%であった。内訳は、小学校児童で58.5% 現 金	

GIGAスクール構想の推進により、児童生徒の1人1台端末の活用が進み、本事 業で導入している電子黒板との連携により、教育活動におけるICT活用の日常 化が進んでいる。

(児童生徒の理解度)

組 ・アンケート結果より、「わかりやすい授業」の推進が進んでいることが伺え、1 മ 人1台端末と電子黒板との連携による成果が表れていると考えられる。

検 (児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上)

・児童生徒の「思考力・判断力・表現力の向上」に向けた活用の成果は、中学校 では目標値を達成しているが、小学校では目標値を下回っている。これは、小 学校1.2年生で33.7%、3.4年生で81.0%、5.6年生で84.7%と、小学校低学年が他よ り数値が下がっていることが要因となっている。小学校低学年は、1人1台端末 導入期で、中学年以降と比べると活用率も低いことから数値が下がったと考えら 探究学習を推進していくことが期待される。 れる。

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

(児童生徒の理解度)

さらに「わかりやすい授業」の実践を推進するため、「効果的な」活用方 法の研修の推進が進んでいることが伺え、1人1台端末と電子黒板との連 携による成果と考えられる。今後、活用の学校間差、教師差をなくす取組 が必要である。

(児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上)

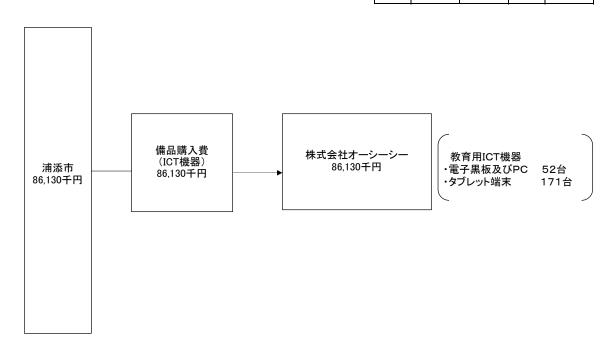
・小学校の向上に向けて、学校訪問等で収集したICT活用の好事例を事 例集としてまとめ、全校に配布・周知することで1人1台端末の活用率およ

今後の取り組み方針

(児童生徒の理解度)

- (児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上)
- ・活用の学校間差、教師差の解消や小学校低学年での活用促進に向けて、市立全小中学校へのICT支援訪問で各学校のICT活用状況の参観を行う。 ・浦添市ICTエバンジェリストによる校内外での活用促進を目指して、全4回の研修会および各学校での公開授業を実施する。
- ·浦添市ICT支援員による授業支援や出前講座や各学校で校内OJTを生かした教職員研修を推進し、先進的な取組や授業実践事例の共有の充実を図る。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
86,130	86,130	68,904	17,226	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使途の点れ	0	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入に係る契約は、一般競争入札で落札した業者			
点れ検、	0		との契約であり、適切であると考える。 〇執行率100%であり、予算規模は事業内容から適正と			
評費価目	_		考える。 〇備品購入は、必要最低限のになるように検討したもの			
- IM [1		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	で、適正であると考える。			

市町村名		浦添市												
	f	和6年度沖	·縄振興特別推	進交	付金	金事業(市	町村	分)検	証シー	卜【经	表用】			
事業番号・事業名		10	浦添市南米移住	者子弟	弟研修	生受入事業		新	·沖縄21世	紀ビジョン	第	4章-4-	-(2)-ア	
- 争未有				_	486 - 1- 4	-	05 /- /-		基本計画該	当箇所)ウチナーネッ ^Ł 承・発展	
担当部課名		企画部 [国際交流課		業実施定)年		25年度~ 013年度		中縄振興基 該当箇			ш-	7	
事業内容			くへ移住した浦添市出 、沖縄文化の振興・発					強化する	ため、浦添	市出身者	千 弟を招聘	号し、本	市及び本県と	
効果発現年度		■当年度	□後年度(年度))									
実施方法		直接実施	■委託 ■補	助		□負担	ロそ	の他()					
	(_) \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		R2年度		R3	年度	F	R4年度	0.100	R5年原		I	R6年度	
	(a) 当初予算額 予 (b) 予算現額		2,43	-		3,331			2,129 2,128		3,668		4,222 3,341	
	算の	算 の (c) 増減額 (b-a))		0,001			-1		-463		-881	
予算額・	状況	(d) 繰越額)		0			0		0		0	
執行額 【単位:千円】		A. 計 (b+d)	2,438		3,331		2,128		2,128		3,205	3,341		
(「交付金」+	J	8. 執行済額		0	 			2,12			3,197		3,326	
「市町村負担」 ベース)	次年度繰越額		0			0			1,702		2,557		2,660	
	執行率 (%) (B/A)		0.0	-		0.0%		1	00.0%		99.8%		99.6%	
	予算	章の状況の説明	当初予算は4,222千日 当初見込みより短期間 26千円、委託料80千日 割計算し、滞在費1045	引となっ 引、賃借	たた& き料38	527千円、傷害 千円を減額し	害保険料 た。また	、委託料、南米移	、賃借料が 主者子弟研	当初見辽 F修生交付	込みを下回っ 対金は交付す	たため	、傷害手数料 現程を基に日	
									達瓦	找状況				
	R6活動目標(指標)					R3年J		R4	 年度	R	5年度		 R6年度	
	南米移住者子弟研修生受入:2人										2人)		2人)	
	各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・企業研修 ・地域交流 ・報告書作成				標	(中止)		()	2人		2人		
活動目標	【参考	背指標】令和4年度	の活動目標											
(指標) 及び達成状況	•世界 •地均	移住者子弟研修生 のウチナーンチュ なとの交流	大会への参加	目	標	()	(4人)	()	()	
	・世界	の浦添出身者歓 の浦添出身者へ 国後に現地において	甫添市の紹介	実	績			4	4人					
	達成状況説明	令和6年8月 招聘。期間中 センターや自	引9日〜12月16日迄 、人材育成として日; 治会、JICAでの地域	本語学	校で	の語学研修の	の他、琺	球舞踊、	三線、書	道、生け	花などのス	と化研	修、市内児童	
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)	F	R4年度	R5	年度	R6年	度	目標値 (年度)	
	ティー		まで以上に沖縄文化	目	標	() (90%) (9	90%)	(90%)	()	
	の継: 90%: 		答えた研修生の割合:	実	績			100%	10	00%	1009	%		
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	ぎ指標 】			標) () ()	()	()	
	進捗状況説明	ブラジルとペ の友好親善、? 的に出掛け、私 もたちの国際意	ルーからそれぞれ1人 中縄文化の振興・発展 8民の歴史・異文化を糸 意識の醸成にも繋げた。	ずつ計に寄与紹介する	2人を する人	、材の育成を図	図った。ま	た、地域	交流として	、児童セ	ンターや市の	のイベン	小等にも積極	

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・成果発現の確認手法として、帰国後も現地活動や文化紹介等のレポート(南 米からのおたより)提出を求め、市ホームページで紹介しているが、中・長期的 なスパンでの確認方法について検討が必要である。 ・研修生の帰国後の活動を把握し、その活動状況を市が発信するなどして、研 修生と市とのネットワーク強化に努める必要がある。	・研修生の趣向を事前に把握し、より効果的に沖縄の文化や歴史に対する理解が深められるよう対応する。 ・成果発現の確認を行う方法については、本事業の成果を測るために実施しているアンケートの内容の見直しも含めて、引き続き検討が必要である。

- 次年度も前年度同様、浦添市出身の南米移住者子弟研修生を2人招聘し、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材と して育成する。
- 当面の間は研修期間を4ヶ月間としつつ、適当な研修期間等について引き続き検討する。
- ・本事業の成果を測るために実施しているアンケートの内容の見直しを含めて、より成果発現の確認がしやすい方法について検討を行っていく。 ・研修生には本市と移住先国を繋ぐ交流の架け橋として継続した取り組みが求められることから、各国の市人会等との連携を強化し、研修生の活動機会の創出 を図る。また、各市人会の活動について、広く発信や共有を行うと共に、引き続き成果発現の確認手法確立に向けて検討を続ける。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 総事業 交付対象 交付対象 交付金 市町村 事業費 外経費 費 充当額 負担金 3,413 3.326 2,660 666 87 •報償費(講師謝礼金) 事務費 ・需用費(印刷製本費) •役務費(傷害保険料) 197千円 ・施設使用料(研修生滞在アパート) 使用料及び賃借料 (有)デジタルマックス 774千円 774千円 浦添市 3,326千円 •日本語研修委託 委託料 (株)JSLインターナショナル 160千円 160千円 ·航空運賃 負担金、補助及び交付金 研修生2名分 •滞在費 2,195千円 2,195千円

評価 点検項目 評価に関する説明 〇研修生に交付した交付金は、「浦添市補助金等の交付に関する規則」及び「浦添市南米移住者子弟研修生受入事業交付金支給規程」に基づき、適正に交付した。 0 支出先の選定方法は妥当か。 使金 途の の流 〇不用額は事業費の5%以内であり、適切な予算規模で 0 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 点れ あった。 検 〇受益者との負担関係については、事業の目的及び日本 評費 0 受益者との負担関係は妥当であるか。 と移住先国との経済格差等を勘案し、適切だと判断した。 価目 〇費目、使途については、執行途中及び額の確定時にお いて事業目的達成の観点から必要最小限であったかを確 0 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 認し、適正であったと判断した。

ほか、交付対象外経費87千円

市町村名		浦添市													
	令	和6年度沖	縄振興特別推	進交	付金	事業	(市)	町村	分)検証	シー	ト【 2	公表用)			
事業番号・事業名	1	1	浦添市中学	生平	和交流	市事業			新•丼	縄21世	紀ビジョン		第4章−4	-(1)-イ	
* 争未省									_	本計画該	当箇所		の実相・継え	教訓の次世代 K	
担当部課名		企画部 国	国際交流課		業実施 定)年/		平成24 令和1	年度~ 3年度	沖鈴	沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-3-(2)		
事業内容			をせることなく次世代に編 ことにより、研修報告等を							を実施し	、研修修	多了後、「浦	流市ピー	-スメッセン	
効果発現年度	■ 월	当年度 ————————————————————————————————————	□後年度(:	年度))										
実施方法	■値	直接実施 	□委託 □補	助]負担			の他()			1		
	R2年度 (a) 当初予算額 0			R34	年度	1.624	F	₹ <mark>4年度</mark>	93	R5年	<u>度</u> 1,832		<mark>R6年度</mark> 1,627		
	予 (b) 予算現額	0				1,370			93		1,632		1,027	
	算	(c) 増減額(b-a) 0		,						0		-422		-227	
予算額・	√+ k	d) 繰越額	0			0			0				0		
_ 執行額		. 計 (b+d)	0						1,1	93		1,410		1,400	
【単位:千円】	В.	執行済額	0	0 1,076					1,1	92		1,397		1,388	
「市町村負担」	うち交付金充当額 0						860		9	54		1,118		1,110	
	次年度繰越額 0 執行率(%)(B/A) #DIV/0!						0			0		0		0	
	執行率	Œ (%) (B/A)	#DIV/0!			7	78.5%		99	9%		99.1%		99.1%	
	予算の	の状況の説明	県外研修経費の実績か	D実績が当初見込みを下回ったため、賃借料等227千円を減額した(第4回変更提出)。											
										達成	状況				
	R6活動目標(指標)						R3年度		R4年	 度	F	R5年度		R6年度	
	 事前研修(ビデオ学習、戦跡巡り等) 本研修(2泊3日) 事後研修(研修報告、壁新聞作成) 日向中学生との交流会(受入) 				標	(10人)	(10 <i>)</i>		(10人) (10人)	
活動目標(指標)	・事業報	5戦没者追悼式 8告会(浦添市ま 展ニ	なびフェスタ)	目	標	()	()	() ()	
及び達成状況	・パネル ・ピース		ジャー認定:10名		績										
	達		人及び平和ガイド1人か	らなる	5平和3										
	成状況説明	展」を行ったほ 〇事前研修(3 〇本研修(3日 〇事後研修(2	は、中学生の団員10人 か、平和への願いを発作 回): 学童疎開体験者講 間): 日向市内戦跡巡り、 回)、市長報告会: 研修に に市まなびフェスタにおし	言した 話、浦 日向 こ関す	。 f添・宜 市戦争 る壁新	:野湾戦 ●体験者 f聞作成	跡巡り、 針の講話 丈、ピース	南部 会及ひ スメッセ	銭跡巡り ド日向市立 F ンジャー認	3向中学				多報告·壁新聞	
		R6成果目	標(指標)				準値 年度)	F	84年度	R5	年度	R64	年度	目標値 (年度)	
	研修ヤ 平	ウピースメッセン:	ジャーの活動を通じ、	目	標	()	(80%)	(8	0%)	(8	0%)	()	
	和に対	蒦者へのアンケー	ったか(80%以上)を含 -トにより、本事業のあ	実	績				92.5%	100%		10	00%		
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指	 信標】		目	標	()	()	()	()	()	
				実	績		/								
	進捗状況説明	から本事業を追いては、「地域 ントなどがあれ	や団員の保護者を対象 通して「戦争の悲惨さや」 でイベントやボランティフ ば、必ず参加して沖縄戦 は「これからも世界平和	平和 <i>0</i> 7活動 戦の割	D大切る に参加 ま惨さを	さについ い、平 を伝えて	ヽて理解 和のため いきたし	が深ま うにでき ゝ。」との	った」との回 ることを実 の回答から	i 答を得ら 践してい も平和に	られた。[きたい。 対する理	団員への自 」、「浦添巾 里解が深ま	目由記述 うでの平を ったこと	アンケートにお 和に関するイベ が伺えた。ま	

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

(平和への理解度)

(千れへの理解度) ・研修後のアンケートにおいて、歴史の授業やニュースで戦争に関する話題が 出ると、これまで以上に関心を持って聞くようになり、学んだことと結びつけて心 情や情景を考えることが多くなった等の回答があった。学童疎開体験者及び、 日向市の疎開児童受け入れ者の疎開当時の年齢と団員が同世代ということも あり、体験談を聞くなかで、自分事として捉えることができたことが、平和に対す

る理解に繋がった要因の一つと考える。 ・今後、研修で深めた平和への理解をピースメッセンジャーとしての活動をとおし 検 て、効果的な発信方法について検討していく必要がある。 証

(地域性に特化した研修の継続性)

・本研修派遣先を浦添の疎開地である日向市としたことで、地域性に特化した平和学習ができたが、派遣先では疎開に関する資料館等はなく、疎開体験者の案 内による戦跡地視察や講話が学習の柱となっているため学習の継続性に懸念 がある。

(平和への理解度)

・平和に対する理解度を深めるためには、疎開体験者から直接当時の様 子を聞く時間を研修に組み込むことが重要であるが、戦争体験者が高齢 化していくなか、研修方法を工夫する必要がある。

・研修全体において、団員がその後に認定されるピースメッセンジャーとし ての活動を意識しながら参加できるような研修内容を検討していく必要が ある。

(地域性に特化した研修の継続性)

・浦添市の地域に特化した平和学習を継続するために、事前研修の学習 内容の見直しや、本研修派遣先での交流方法に工夫を図る。

引率職員1名分

県外旅費 86千円

今後の取り組み方針

(平和への理解度)

の

・団員が戦時中の出来事を自分事として捉えることができる学習を展開できるよう、適宜見直しを図りながら、研修を実施していく。

旅費

999千円

使用料及び賃借料 235千円

- -スメッセンジャーの活動については、市が主催する平和に関する取り組みで発信の場を設けるなどの活用や団員の自主性を尊重しながら、活動をサポート できるような環境を整えていく。
- (地域性に特化した研修の継続性)

浦添市

1,388千円

- ・団員がピースメッセンジャーに認定された後、浦添での戦争の実相や平和継承の発信が自主的かつ効果的になされるような研修内容となるよう、適宜見直しを 図る。
- ・戦跡地視察や講話等の音声および映像を記録するなど、間接的証言の活用を検討する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 総事業 交付対象 市町村 交付金 費 事業費 外経費 充当額 負扣金 1,430 1,388 1,110 278 42 •報償費(講師謝礼金) •需用費(印刷製本費、燃料費等) **事** 森 書 154千円 •役務費(傷害保険料、手数料) 平和交流団11名分 費用弁償 913千円

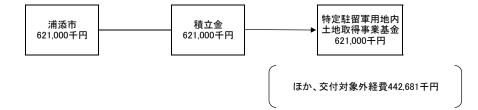
4	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金	0		○各学校・団体からの推薦に基づき決定した団員に対する 旅費の支払いは、妥当であったと考えている。
使途の点検評価	t O	 予复規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	の不用額は、執行段階で最小限の支出となるよう努めたことによるものであり、適正な規模であった。
(評)	O	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇事業目的を考慮すると、市の負担での実施(受益者負担無し)は適当であった。
	•		○費目・使途については、執行途中及び事業完了時に目 的に即し必要最小限であるか確認し、適正であった。

市町村名		浦添市														
	f	和6年度	沖縄振興特別	推	<u></u> 	付金	事	業(市	町木	t分)	検証	Eシー	卜【公	表用】		
事業番号 · 事業名		12	浦添市特定縣	註留軍	用地	等内土	地取	7得事業			新•沖	4縄21世	紀ビジョン	第4章	-3-	(13)ー(イ)
- 李未仁											基	本計画該				利用の早期着 双組の推進
担当部課名	港湾	基地政策局 跔	5 地未来課			業実施定)年原		平成27年. 年	度~1 F度	う和13	沖線	電振興基 該当箇			ш-	8
事業内容	金を追放するものである		 5 გ.				来の	公園・緑	地等σ)公共,	用地先	行取得を	₹行う。本	事業はその	先行取	得の為の基
効果発現年度			■後年度(会													
実施方法		直接実施		□補□	功	R3年]負担	担	□₹	の他 R4年)	R5年度			R6年度
		(a) 当初予算額	R2年度 当初予算額 750,000			R3±		50,000			戈 1,633,8	305	Ko干月	^支 779,000	ı	567,718
	予	(b) 予算現額		9,175				50,000			1,633,8			831,174		598,235
	算の	(c) 増減額(b-	9	9,175				0				0		52,174		30,517
予算額・	状況	(d) 繰越額		0				0				0	0			0
執行額 【単位:千円】		A. 計 (b+d)	84	9,175			5	50,000			1,633,8	3,805		831,174		598,235
(「交付金」+	<u> </u>	3. 執行済額 	<mark></mark>	9,175	75			50,000			1,633,805			849,074	621,000	
「市町村負担」 ペース)	Ľ.	ち交付金充当額	67	9,340			4	40,000			1,307,0		679,259			496,800
		マ年度繰越額 ・率(%)(B/A)	1	00.0%				100.0%			100	0		102.2%		103.8%
	1241.	— (70) (b) N	'	00.0%				100.0%			100	.070		102.2%		100.0%
	予算	草の状況の説明	地権者より土地の	買取買	申出な	が当初の	の想象	定以上に	あった	ため、	年度途	金中で事	業費の増	額を行った。	,	
	R6活動目標(指標)											達凡	状況			
								R3年度			R4年	度	R	5年度		R6年度
	先行取得目標面積30haの土地取得を目指す				目	標	(積立)	(積式	ታ)	(積立)	(積立)
	用地	跡地の有効かつ)積立てを行い、駐留 適切な利用を促進す 2007년		—	6 =		1 ± →			1=-			1 ± →		I# -L
	Коях	得目標面積:10	uuum		美	績	積立				積1	並		積立		積立
活動目標(指標)					目	目標 ()	(() (() ()
及び達成状況				•	-	績										
					天	視										
	達成状状況 牧港補給地区の土地の先行取得による用地取得を推進するため、基金積み立てを行った。 説 朗明															
		R6成果	目標(指標)				<u>‡</u>	基準値 年度)		R4年/	叓	R5	年度	R6年	变	目標値 (年度)
	[B8E	· 艾果目標】			目	標	()	(4,589	m [†])	(10,00	00m²)	(10,000n	n)	(300,000㎡)
	基金		0.000m²	-					+				•		•	
			,,000111		実	績				4,346	mí	17,0)18m²	18,687	m	
成果目標 (指標)	【R13	成果目標】			目	標	()	()	()	()	()
及び進捗状況		事業の用に供す 成率69.6%)	る土地取得目標300	,000	実	績										
	進捗						_									
	状況説明	・累計取得面	先行取得事業により ī積209,462㎡、土地										た。			

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取級の特証	且の食匠	・買取申出を行っているが、相続問題、民間事業者への土地売買検討などにより、売買不成立となる事例があった。 ・牧港補給地区跡地利用イメージVRを活用した先行取得説明会を開催し、約2.5 haの買取申出があった。	・売買不成立となった場合の対策として、前年度と同様にホームページ・広報誌による追加募集の周知活動を講じる。 ・先行取得の際、小規模面積を優先するなど戦略的な先行取得を検討する。

- 今後の土地利用を踏まえ小規模面積を優先的取得する等、戦略的な先行取得を検討する。
- ·令和5年度より申出面積が増加したことから、VRを活用した広報活動が効果的であると考えられる。引き続き、跡地利用計画への理解を促すような広報活動を 推進する。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
1,063,681	621,000	496,800	124,200	



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の流れ	0	支出先の選定方法は妥当か。	・基金積立事業であり、基金条例に基づき積み立てを行					
点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	を登り、要当である。 ・不用額はなく、適正な予算規模であった。					
検評価・	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ロロコに向し、必要なものでのうだと判例した。					

市町村名		浦添市													
	4	和6年度河	中縄振興特別推過	進交	付金	事業	市	町村分)検証	Eシー	卜【公	表用】			
事業番号 ・事業名		13 T	だこの都市・浦添「あまく	ま歩っ	っちゅん	ル浪漫ウ	ォーク	」事業	新->	沖縄21世 紀	記ピジョン	第4	章-3-	-(9)-ア	
* 争来省										本計画該		スポーツ	関連産 或の活		と地
担当部課名	市民部	部 経済文化局	観光振興課		業実施 定)年月		뷫24年~	~令和13	年 沖	縄振興基 該当箇			Ⅲ-1-(1)		
事業内容	盛り上	上げ、本市の観光額	推し、本市の歴史・文化 客入域増に繋げる。			を活かし	ンたウォ	ーキング	イベント	「てだこウ	ォーク」を	∊地域活性・	経済効	果の観点	点から
効果発現年度		当年度 		年度)											
実施方法		直接実施	■委託 □補)		_				
	_	(a) 当初予算額	R2年度 中止		R3年 中。			R44	<u> </u>	170	R5年原	5 6,500	F	R6年度	7,000
	予	(b) 予算現額	中止		Ψ.	Щ				170		6,500			7,000
	算の	(c) 増減額(b-a)								0		0			0
予算額・	状況	(d) 繰越額													
_ 執行額		A. 計(b+d)							6,	170		6,500			7,000
【単位:千円】	В	3. 執行済額							6,	170		6,500			5,694
「市町村負担」	5	ち交付金充当額							4,	936		5,200			4,555
	_	7年度繰越額													
	執行	·率(%)(B/A)							100	0.0%		100.0%			81.3%
	予算	の状況の説明	本事業において、総事 行率としては81.3%とな		しては	予定通	りの完 ⁻	了したが、	事業内	容の一部	が対象外	経費となっ	たため	、交付金	の執
	R6活動目標(指標)									達成	状況				
					R3年度			R4年	度	R	5年度		R6年度		
	×-	·	目	標	(中止) (開	崔)	(開催)	(開催)	
	(/:-	:ウォークの開催	実	績	中止		2日間	開催	開催		開催				
活動目標 (指標) 及び達成状況	本市の	の地域特性を活か	したルートをウォーキン	目	標	(中止) (実	施)	(実施)	(実施)
	グ			実	績		中止		実	施	:	実施		実施	
	達成状		の魅力あふれるスポ- てだこウォーク2025」を						F2月15	日(土)に	に浦添力	ルチャーバ	ーク体	ってだこり	広場
	況説明		る民間提案の募集を図 -ージイベントを実施し		:め、公	\$ 募型 7	プロポー	ーザル方	式によ	る業者選	定を行し	ハ、イベント	プロモ	ーション	⁄及び
		R6成果目	標(指標)			基 ^线 (年	準値 =度)	R4:	丰度	R5:	年度	R6年原	度	目標(年)	
		からの参加者:2,30 からの参加者:2,70		目	標	()		I,430人 I,030人		3,600人 4,400人	市外:2,3 市内:2,7		()
		からの参加者:2,70 参加者数:6,000人		実	績		市外:2,95 市内:3,40				2,773人 2,543人	市外:3,2 市内:2,7			
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	指標】		目	標	()	()	()	()	()
V V(//)				実	績	/	_							/	
	進捗状況説明		見しては、クリーンウォー と比較して5,316人→6,0;						ジイ/	ベントでの	MCに県I	内人気お笑	い芸人	を起用し	たこ

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・ウォーク以外にも会場内では県内人気お笑い芸人がMCで市民団体出演のステージスペント関係のセッチンカー配置など、参加者の漢兄度向した図る取組	・色々な媒体(TV、ラジオ、SNS、HPなど)を通して幅広い層へ当イベントのプロモーション活動を行い、参加者の増に努める。 ・イベント当日に周辺駐車場が満車で渋滞が起こる状況があるため、公共交通機関の利用を参加者への事前周知に努める。 ・申込窓口の増設のみでなく、窓口の設置箇所の検討を行う。

・参加者アンケートでの良かった点や改善点を踏まえブラッシュアップを行い、より参加者が満足いくコース設定とイベント実施に努める。・交通渋滞の緩和、違法駐車対策のため公共交通機関の利用を事前周知し、当日も警備員を配置してイベントのスムーズな運営に努める。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
7,000	5,694	4,555	1,139	1,306



てだこの都市・浦添 「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」 事業業務委託

ほか、交付対象外経費 1,306千円

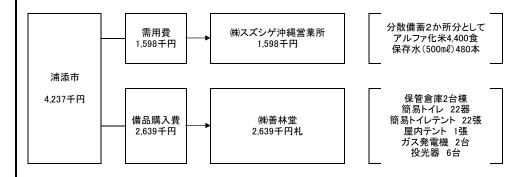
資		点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	・価格のみで比較する一般競争入札よりも、企画力・技術力のある事業者から幅広く提案を募集する公募型プロポーザルによる
点れ検、	0		選定を行っており、事業内容に合った妥当な選定方法であったと考える。
評費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・事業内容の一部が対象外経費となったが事業費内で委託内容 を完了することができ、適正な予算規模であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に 即し、必要なものであったと判断した。

市町村名															
113 143 143 143	4		 中縄振興特別推	単准な	5付金	事業(市	面村	分) ‡	金証シ	·/—	 - 	公表	用】		
事業番号													· · · · · ·	1-2-(4) - 7
- 事業名		14	災害時備蓄食料	重及ひは	官官庫	寺登備事業			新•沖縄 基本!	21世紀					えた強くしなや
担当部課名	総務	部 防災危機管理	里課		業実施 定)年[∓度~令 年度	·和6		長興基 を当箇	本方針 所	-		土つく II-10-	(りの推進 ·(3)
事業内容	事業内容 災害時における住民及 る。 効果発現年度 ■当年度					整備の避難	所等に値	講 蓄倉庫	車を設置	遣し、備	蓄米、	飲料力	k及び災 [:]	害用品	品等を配備す
			□後年度(年度											
実施方法		直接実施		甫助	□ □負担 □その他(
		() != = 55.47	R2年度		R34	丰度		R4年度			R5年			F	16年度
	予	(a) 当初予算額	7,7		8,9				2,294		中.	止			4,877
	算	(b) 予算現額	2,3			8,806			2,294						4,877
	の状	(c) 増減額(b-a)	-5,3			-100			0						0
予算額·	況	(d) 繰越額		0		0			0						0
執行額 【単位:千円】		A. 計(b+d)	2,3			8,806			2,294						4,877
(「交付金」+		B. 執行済額 	2,3			8,245			2,086	<u> </u>					4,237
「市町村負担」 ベース)		うち交付金充当額	1,8	60		6,596		1,668							3,390
	次年度繰越額			0	1				0						0
	執行	f率(%)(B/A)	100.	0%		93.6%			90.9%		#DI\	//0!			86.9%
	予算	算の状況の説明	予算に対する落札額	の差額	によりる	下用が発生し	たが、計	画通り	に執行	できた。	0				
	R6活動目標(指標)									達成	状況				
		100万到口保(旧宗)				R3年	度		R4年度			R5年原	度		R6年度
	***	災害用備蓄米 4.400食				(2200))	(2200)	(中止	_)	(4400)
	火吉	巾佣 雷木 4,400 艮	<u> </u>	実	€ 績	2200)		2200						4400
	保存:	水 480本		-		(7320	•	(240)	()	(480)
注動日標			節目し ノレニン・しょ		積	7320			240						480
(指標)	張、厚	屋内テント1張、ガス	、簡易トイレテント11 、発電機1台、投光器3			(2)	(1)	()	(2)
及び達成状況	台)2	箇所			積標	(1		(1	`	(/	2)
	防災:	倉庫 2棟		-	· 标	(1)	(1)	()	(2
				^	494	<u>'</u>									
	達成状況説明	令和5年度に ³ 和7年度に設置	予定していた3か所へ 置することで目標達成				ため、そ	の分に	遅れが	生じて	いる。7	なお、「	中止され	た3か	所について令
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)		R4年度		R54	年度		R6年度	1	目標値 (R6年度)
	/ *** ***	-		Ш	標	() (実施) (中	止) (実施)	()
	等の		料水及び災害用備品 2か所		4			実施					実施		
(指標)	【参考	指標】 6年度成果目標		E	標	() (1) (中	止) (1)	(1)
及び進捗状況	配備		した訓練を年1回程度 いて検証する。		ミ 績			1					0		
	進捗状況説明	計画通り防災が執行できなかっ	倉庫及び備品の整備 □ <i>たた</i> め、令和7年度Ⅰ			後年度の成	果目標排	旨標(令	和6年原	度発現)として	いる訓	練につし	ハては	R6年度中に

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	防災減災の観点から倉庫設置が重要であることの認識一致により倉庫設置から備品等整備完了に至った。 なお、成果目標とする年1回の訓練については、年度末の配備ということもあり 実施に至っていない。	令和7年度に備蓄倉庫内の備品活用による訓練等を実施する。

備蓄倉庫内の備品の取り扱いや保管方法などを市災害対策本部担当班及び施設管理者に周知し、訓練等を実施することにより住民及び観光客の安全を確保 する。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
4,237	4,237	3,390	847	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使途の流れ	0		〇一般競争入札により選定していることから、選定方法は 妥当であったと考える。
点れ検、	0		〇執行率は86.9%は入札による執行残であり、適切な規模 であったと考える。
評費価目	0	文益有との貝担関係は安ヨじめるか。	〇受益者は住民及び観光客であり、市負担として妥当であ る。
ш •	ll .	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	〇島しょにおける防災・減災対策において真に必要なもの に限られている。

市町村名	浦添市															
	ŕ	3和64	年度沖	中縄振興特.	別推達	進交	付金	事業(1	可工本	†分)	検証	Eシー	ト【 4	₹表用】		
事業番号・事業名		17		認可外保育施設	とこどもの	のみら	い緊急	魚応援プロジ	ェクト		新•丼	中縄21世	紀ビジョン	第4章	章-2-	(2)ー(ア)
・争未石		-									基	本計画語	送当箇所	子ども	子育で	支援の充実
担当部課名	こど	も未来部	こども	未来課			業実施定)年月		度~令 度	和9年	沖綿	電振興基 該当節	基本方針 語所		Ⅲ -4-	-(3)
事業内容	認可	外保育施訂	設におけ	るこどもの安全を	を確保す	-るた	め、給1	食業務の委割	モ及び1	賃借料(の補助	を行い	慢性的な	入手不足	を解決す	¦る 。
効果発現年度	•	■当年度		□後年度(1	年度))									
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補				■補.	助	[□負担	□₹	その他	()				
		(-) N/ † 77	7 /# #F	R5年度	04.000		R64	丰度		R7年原	度		R8年	度		R9年度
	予	(a) 当初 ⁻ (b) 予算 ³			24,693 14.745			20,290 15,000								
	算の	(c) 増減			-9.948			-5.290				0		0		0
	状	(d) 繰越			3,340			3,230						· ·		
	況	A. 計(b+			14,745			15,000				0		0		0
予算額 · 執行額		B. 執行済	· ·額		12,866			13,862								
【単位:千円】	Ţ.	うち交付金	充当額		10,293			11,089								
(「交付金」+ 「市町村負担」	Ş	欠年度繰起														
ベース)	執行率 (%) (B/A)				87.3%	3% 92.4%				#DIV/	#DIV/0! #DIV/			′0!	;	#DIV/0!
	【給食提供業務3 令和6年度につい 減ったことから、3 るが、今回、想定 【賃借料補助】 賃借物件でなく自 なる施設があった				3月に漏 とより伸 自己所7	越額補 びなが 有物件	正をし かった。 ‡である	た。また、認 ことにより不り ことや保育	可外保 用額が 従事者	育施設 発生して	は、例 ている。	川年、年)	度末にかり	けて入所児	童が増	える傾向にあ
		R6活動日煙(指煙)										達				
		R6活動目標(指標)						R5年	度	Re		度	F	7年度		R8年度
		①認可外保育施設における給食業務の委託を 7施設で実施する。					標	(8施設) () (7施設)() () ()
活動目標						実	績	8施設			5施設					
(指標) 及び達成状況		可外保育が 実施する。		ける賃借料補助	を9施	目	標	(9施設) () (9施設)() ()		
						実	績	8旅	設		8方	施設				
	成状況	達成状 ①給食業務委託については、7施設 2 賃借料補助については、1施設が 説 明														
		R	6成果目	標(指標)				基準値 (R4年度)		R5年原	隻	R	6年度	R7年	度	目標値 (年度)
		「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向 上を図る時間」の増加時間(1施設あたり月平 均)					標績	(±0時間) (+112時		+112時 54時間			時間)	()	()
成果目標(指標)	【糸⇒	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				目	標	() ()	()	()	()
及び進捗状況						実	績									
	進捗状況説明	「子ど [:] 6年度		時間」や「保育従 レオニ目標値を達成									 設への書	面調査によ	り実施し	ンた結果、令和

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

組

の 検

証

(R6.10以降の指導監督基準を満たさない認可外保育施設の保育料無償化の経 過措置の修了)

R6.10以降、指導監督基準を満たさない認可外保育施設については、保育料無 償化の経過措置が修了することに伴い、入所児童が減少し、さらなる運営の逼 迫が懸念される。

(物価高騰等に伴う実質賃金の低下)

【初価高騰等に伴り夫員員並の低下) 物価高騰等に伴い、本県においては実質賃金が2024年の毎月勤労統計調査 (従業員5人以上の事業所)によると、物価変動を考慮した実質賃金は前年比 0.2%減であった。原則、保護者からの利用料のみで運営している認可外保育施 設では、保育に係る食材料費、光熱水費、人件費などが上がっている中、本事 業期間内に段階的に保育料を引き上げる必要があるが、厳しい状況である。

(給食費の値上げ検討)

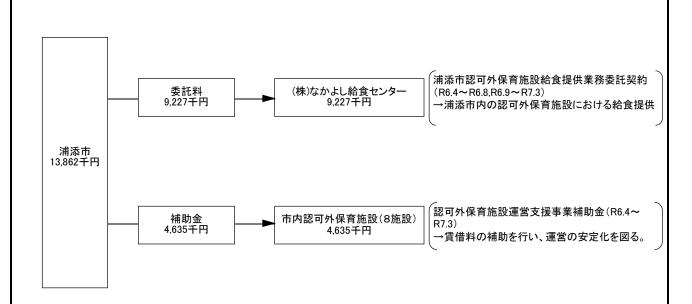
(福良貴の他工) 検討が 保育料と違い、給食費については値上げの余地があるが、県の一括交付 金事業:新すこやか保育事業」との関係で、中々値上げにつながらないこ とが多い。よって、今後、県に対し、新すこやか保育事業の補助要件とし て、「実費徴収率」を加えるなど事業変更を検討していただくよう要請する などの対応が必要。

今後の取り組み方針

引き続き、本事業の実施により業務負担の軽減や運営の改善を図りながら、保育の質を高めるための資料等の提供や研修の実施などを組み合わせながら、保 育の質の向上に努める。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
13,862	13,862	11,089	2,773	



		評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使途の点検評価・	資金	0	ZEZOZZZO O	○給食提供業務の特殊性に鑑み、公募型プロポーザル方式により、見積額だけでなく、乳幼児給食への理解、人員				
	まれ	<mark>h l</mark>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	体制、衛生管理体制等について優良な業者を選定した 〇入所児童数など見込が立てづらいものもあるが、3月 補正予算で減額をしている。 〇今回の事業内容に照らし、給食提供業務委託に係る				
	で費目・		受益者との負担関係は妥当であるか。	材料費部分については、本事業の対象外(施設負担)としており、妥当であると考える。 〇委託料については、食材料費を除く委託料部分に限定し				
		0		ている。また、補助金については、施設賃借料に係る部分 のみになっており、さらに月の上限額(5万円)を設定して いるため、必要最小限の費目・使途であったと考える。				

市町村名		浦添市																	
	f	和 6 年度沖	中縄振興特別	引推	進交	付金	事	集(市	田丁	村分)検	証	シー	۱ ۱	公表	用】			
事業番号 ・事業名		18	あ	りんくり	んクリ	ノーン事	業						■21世紀			第4章	i-1-	(6)—((ア)
于 米·1					Teler -	# cb \					-	基本	計画該	当箇別	Ť	沖縄	らしい	虱景づ	らくり
担当部課名	教育i	部 文化財課				業実施定)年月		成24~	∙令利	112年	度		振興基 該当箇		H	1	I I − 1 -	-(1)	
事業内容	光資流	くク時代の古城「浦原として活用する <i>†</i>	こめに、それらのこ	文化財	の環境	竟整備													
効果発現年度		■当年度	□後年度(年度)														
実施方法]直接実施	■委託	口補	助]負担	1		その・)						_
		(a) 坐切圣質頻	R2年度	5,400	R3年度 R4年			丰度			R5	年度			R6年月	<mark>隻</mark> 5,0!			
	(a) 当初予算額 (b) 予算現額			5,400				3,162 3,162											5,0
	算の	(c) 増減額(b-a)		0,400				0					0			0			3,0
	状	(d) 繰越額						\dashv											
予算額・ 執行額	況	A. 計(b+d)		5,400				3,162					0			0			5,05
【単位:千円】	E	l		5,397	97			3,149											5,02
(「交付金」+ 「市町村負担」	「村負担」 うち交付金充当額 4,31		4,317				2,519					 						4,02	
ベース)	Z	欠年度繰越額		0	0			0											
	執行	F率(%)(B/A)		99.9%				99.6%		#DI	V/0!			#D	IV/0!				99.5
	予算	草の状況の説明	当初計画のとお	り適切フ	な執行	すができ	きた。						達成	状況					
	R6活動目標(指標)							R3年月	ŧ		R4	1年度			R5年	<u></u>		R6年	
								110-77	χ.		- 11	1713			110-	, <u>x</u>		110-	-12
		財の清掃			目	標	(1 箇 月	沂) (-)	(-)	(1 箇	所
	(史跡	沛 浦添城跡)			実	績		1 箇 戸	听			-			-			1 箇	所
活動目標 (指標)					目	標	(11 箇 戸	听) (_)	(_)	(11 箇	所
及び達成状況	文化	財の除草等環境整	備																
					実	績		11 箇 戸	听			_			_			11 箇	所
	達成状況説明	国史跡「浦洋か来訪者が多	忝城跡」の清掃、 ₹全かつ快適に									fのβ	余草作	業等(の美化	作業を	実施し	ン、観力	光客ほ
		R6成果目	標(指標)					準値 (年度)		R4	丰度		R54	年度		R6年』	芰		目標値 年度)
		学者にとって安全は			目	標	(8	0 %)	(_) (_) (85	%)	(%
		者へのアンケート」と答えた割合)	により「非常に良	し \~	実	績				-	_			_		95%			/
成果目標 (指標)		まれる。 指標】 ガイドの文化財案に	为件数		目	標	(6	0 件)	(_) (_) (90	件)	(件
及び進捗状況		値はR2年度実績			実	績	/									124件	ŧ		
	進 ・見学者へのアンケートについて、6~3月に浦添城跡や中頭方西海道で調査を実施した。382名から回答を得て集計した結果、「非常 に良い」~「良い」と回答した割合は95.5%であり、目標値の85%を上回り、肯定的評価を得ることができた。 ・歴史ガイドの文化財案内件数については目標値の90件を上回っており、引き続き目標値の維持を図る。																		

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の特証	観光資源となる対象文化財を常に快適に見学できるよう巡回パトロールを適宜行い、雑草が繁茂し見学者に不快感や危機感(ハブ遭遇など)を与えていない、通常時はまとより会園災害後の危险個所は無いかなどの北辺坪場に努	亜熱帯特有の気候により植物の成長が早く、急激に不快・危険な状況に 陥る恐れがあることから、きめ細やかな巡回パトロールを徹底し、対象文 化財の環境状況を詳細に把握し、速やかな対応に繋げる。これらを徹底 することで魅力的な観光地としての景観形成の目標値(85%以上)の維持 向上を図る。

- ・巡回パトロールを丁寧に実施し、対象文化財の状況把握に努めることで、快適性や安全性の確保について対応して行く。 ・本市の観光資源の核である浦添城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道(歴史の道)は、特に来訪者が多いことから重点的に環境整備に取り組む。 ・その他の文化財についても、観光シーズンや各種イベントの時期を見据えた環境整備を行い、より効率的な事業効果の発揮に努める。 ・観光地としての快適・安全な景観形成が図れたか(85%以上)という観点から、事業成果についてアンケートを継続実施し、改善点等の洗い出しを行う。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
5,025	5,025	4,020	1,005	



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使途の点	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇支出先は、地方自治法施行令第167条2第1項第3号に
の流 点れ 検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	るとは近にまり、近月日の1月日 まって、
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 〇費目、使途については月毎の精算段階で検査を実施し
•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		浦添市													
	4	和6年度沖	中縄振興特別推:	進交	付金	事業(市	町村	分);	検証シ	, —	卜【公	表用】			
事業番号 ・事業名		19	悠々ロマン漆に出	会う	まち浦	添推進事業			新·沖縄2 基本計			沖縄文化	· の保存	- (4) - ア	造と
担当部課名	教育部	部 文化財課			業実施 定)年		~令和1()年度	沖縄振討	興基:		,	<u>= 5</u> 6なる = −3-		
事業内容	別展「	琉球王国の華・漆	を紹介する浦添市美術 芸―貝摺奉行所一」展 よる価値の創出に寄与す	の調整	医調査	等を行った。									
効果発現年度		当年度	□後年度(令和10)年度)										
実施方法	-	直接実施	■委託 □補	助	[□負担	ロそ	の他	()						
			R2年度		R34	年度	l	R4年度	Ę		R5年度	隻		R6年度	
	予	(a) 当初予算額	52,000			16,850									1,222
	算	(b) 予算現額	52,000			16,850),291
予算額・	の状況	(c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	0			0			0			0	-9		-931
執行額		A. 計(b+d)	52,000			16,850			0			0	10,),291
【単位:千円】	B. 執行済額		51,585	_		16,775							9,421		,421
「市町村負担」	ð	ち交付金充当額	41,268	i8 8		13,420								7	7,537
	次	7年度繰越額	0			0				0		0			0
	執行	·率(%)(B/A)	99.2%	99.6			;	#DIV/0)!		#DIV/	0!		9	91.5%
	予算	草の状況の説明	当初予定していた事業減額した。	は全て	実施	した。会計年	度任用單	競員の₹	都合退職	により	報償費9	31千円を第	第4回事	業計画変見	更で
		R6活動目	樗(指標)							達成	状況				
	R6活動目標(指標)			R3年度				R4年度		R	5年度		R6年度		
	堂設員	展実施(年3回の展	示替え)	目	標	(実施	į)	()	() (実施)
				実	績	実施	i							実施	
	企画 原	展実施(漆芸作家)	乗の関係)	目	標	(実施	į)	()	() (実施)
活動目標 (指標)	正四万	以大心(水云)	氏(D)用(E)	実	績	実施	į							実施	
及び達成状況	作品則	非 7		目	標	(実施	į)	()	((実施)
	TFOOR	冉八		実	績	実施	į							実施	
	達成状況説明	・企画展は「碁 館、石川県輪	回の展示替えを実施。 葛飾北斎・琉球八景展 島漆芸美術館との関 点を購入した。	ŢĹ	銭がや	ってきた展 を器の里 石	」のほか	、能到	登半島地	震で袖	波災した	:石川県輪	島市の)友好美術 開催した。	ក់ •
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)		R4年度	Ę.	R5⊈	F 度	R6年	度	目標値 年度	
	常設原	展観覧者数		目	標	(2,604人) () ()	(6,000	人)	()
				実	績		,	5,489人	`	7,25	7人	14,61	人		_
成果目標 (指標) 及び進捗状況	企画原	展開催 年1回以上	<u>-</u>	目	標	(実施) () ()	(実旅	<u>(</u>	()
从 5 延 7 4 1 7 1 7 1	\ <i>IL</i>			実	績							実於	<u>ti</u>		_
進 参和5年度より美術館運営に一部指定管理者導入を行った。このため、令和4年度と令和5年度は当交付金事業を中断し取り組んだ、 平成24年~令和3年度は広報宣伝費に当交付金を多く充てたが、広報活動の主を指定管理者へ移行し、令和6年度は常設展への観 別 覧者誘導を強化した。企画展との共通チケットを販売したことで、常設展観覧車数の大幅な増加を達成した。一方で、琉球漆芸の歴 史・保存・活用・創造と当館ならではの諸企画に重点をおいている。)観					

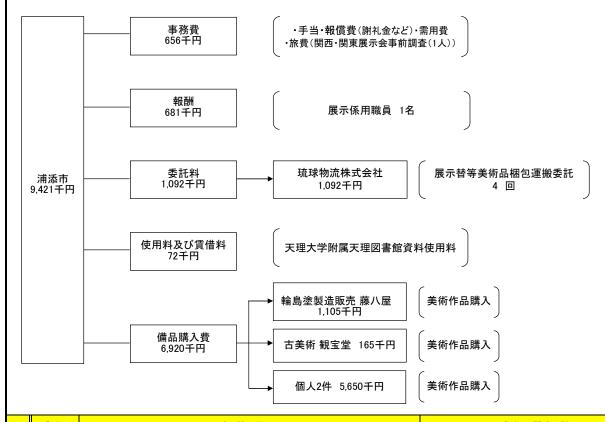
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・コロナ禍からの回復により、観覧者や利用者は戻っている。外部持ち込みによ る企画展で来館者は増えているが、常設展への誘導が課題である。 常設展と企画展をジョイントさせた展覧会運営を促進する。 ·常設展音声ガイドの機器の消耗破損により、サービスが滞った。応急措置として指定管理者による機器(消耗品)購入で対処した。この結果、利用が増え、さ ・音声ガイド貸出の広報と機器を充実させる。 മ ・展覧会や講座内容の工夫と充実、外部専門家を取り込むなど各世代の ニーズを取り込んだ対策を実施し、発信する。 桙 らに台数を増す必要がある。 ・能登半島地震の支援として、被災を免れた輪島塗名工の漆器10点を購入し ・今後の活動を見据えた資料の収集に努める。 た。また、令和7年度の企画展で活用できる琉球漆器等6点、書画1点を購入し ·企画展事前調整のための作品調査を京都·奈良·東京で行った。

今後の取り組み方針

- 引き続き多様な取り組みを行うが、令和7年度は令和6年度の実施成果を踏まえて開館35周年を契機に特別展「琉球王国の華・貝摺奉行所」展を企画し、会場 を企画展示室まで広げ、当館活動の集成となる展覧会を成功させる。国内外へも広く発信する。 ・令和8年度は現代の漆芸家の個展と新たに収集した寄贈作品の企画展を開催する。令和7年度は企画展準備の年とする。
- 琉球漆芸の普及と啓蒙に寄与するため、実際に使用できる漆器を製作するなど多方面からのアプローチによる教育普及を促す。

資金の流れ

纵声	六나식은			六나산육
総事業 費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
9,421	9,421	7,357	2,064	0



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
à	支金金の	0	文山元の選走万法は女ヨか。	〇支出先は公募、入札によるもの以外は、地方自治法施行令 167条の2第1項に基づく随意契約により事業者を決定しており、
J	の流 点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適止な規模となっているか。	妥当であったと考える。 〇計画変更などにより不用は発生せず、適正な規模であった。 ************************************
	東 、 呼費 面目	0		○受益者の負担となる事業に講座があるが、参加者からは常設 は 対象 で で を 対象 で も が も が も が も が も が り し 、 市の規定とおりの支払いでを行い妥当と考え を り る り り り り り り り り り り り り り り り り り
1	H	0		る。 〇費目、使途については検査を実施しており、目的に即した、必 要なものと判断した。

市町村名		浦添市															
	令	和6年度河	中縄振興特別	推議	進交	付金	金事業	(市	町村	分) t	负証	シー	ト【公	表用】			
事業番号 ・事業名	:	20	浦添市	ī観光排	長興計	画改	定事業						こビジョン	第一	4章−3−(2)-(ウ)	
于 未也		į									基本	計画該	当箇所	多彩かつ	質の高	い観光の	推進
担当部課名	経済文	文化局 観光振頻	製課			業実施 定)年。		平成28	3~7年	度	沖縄	振興基 該当箇			Ⅲ −1−	(1)	
事業内容			計画は2017年度 \流データ調査を1													に把握す	るた
効果発現年度		当年度	□後年度(年度	Ę)												
実施方法		直接実施	■委託	□補目	助	[]負担		ロそ	の他	()					
			R6年度														
	~	(a) 当初予算額		1,902													
	算 _	(b) 予算現額	1	1,902													
T. Mar delle	状	(c) 増減額(b-a) (d) 繰越額		0				0				0		0			0
予算額 · 執行額	יוני	(d) 樑赵額 A. 計(b+d)	1	1,902				0				0		0			0
【単位:千円】		·····································		1,601										· ·			
「市町村負担」	r	ち交付金充当額		9,280													
	次	(年度繰越額		0													
	執行	率 (%) (B/A)		97.5%		#DI	V/0!		#	DIV/0!	!		#DIV/	0!	#	DIV/0!	
	予算	の状況の説明	執行率は97.5%で	であり、	仕様:	書の内	羽容を全	て完了	するこ	とができ	きた。						
												達成	状況				
		R6活動目	標(指標)				F	76年度									
	観光振興計画の評価・検証				目	標	(各1回])	()	() ()
		か向調査 データ収集		-	実	績		各1回	<u> </u>								
活動目標 (指標) 及び達成状況					目	標	(2回)	()	() ()
	委員会	会の開催		=	実	績		2回									
	達																
	成 状	査のための乳	で価・検証として、 K訪者アンケート	の実施	色、観	光へ	の意識	調査と	して市	i民アン	ノケー	トを実施	した。				
	況説		部会(市係長級) 皆有識者)を各2												f)、審議	会(外部	3の
	明	R6成果目	標(指標)				基準			76年度						目標	
			126 (14 126)		 目	標	(年			200件)	()	()	(年度 (复))
	市民ア	アンケート調査を1	,000件実施し2割回	回答	実	績			+	205件							
					目	標	()	(2回)	()	()	()
成果目標	観光振	長興審議会2回開	催	-	実	績				2回							
成末日保 (指標) 及び進捗状況	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			目	標	()	(10件)	()	()	()	
	闰徐市	『署・団体ヒアリン	グ10件美施		実	績		/		4件							
	進捗状況説明	整理したことで 現状把握調うた。 審議会では、 関係部署・関	に向けた調査では、 ・審議会の資料と をでは、観光客の 観光振興に対して は、観光をのとアリン	して活 浦添市 この取り グにつ	用す に対 り組み いて「	ること: する認 につい は、目	ができた !識や興 ハての課 標未達!	。 味につ !題や、 或となっ	いて確 新たな った。	認する	と共に 受け、	こ、市民の	り観光に	対する意詞	歳を確認	することか	べき
	調査及び審議会の実施等により、次年度観光振興計画改定のための基礎資料が整った。																

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・市民アンケートを実施し、目標件数は達成できたが、観光により地域産業の発 展するとの肯定的な意見と、混雑により交通の不便になるとの否定的な意見が 同程度確認された。市民の観光に対する意識・興味の向上や、より具体的な市民の意見を聴取し、計画に反映させるため、更に市民の意見聴取や議論の機 ・市民ワークショップを実施により、市民への情報発信の強化や具体的な മ 意見聴取を行うことで、持続可能な観光振興が可能となる。 会を検討する必要がある。 ・現状把握のためのデータを活用した精度の高い調査の実施において、データが膨大で整理に時間を要したことに加え、動向調査において市民向けアンケートのほかに来訪者アンケートによる調査・分析の実施に比重を置いた結果、関 ・作業部会では、市職員だけではなく、観光業に関わる方にも参加を依頼 し、事業所の意見も踏まえた、観光振興計画の改定を図る。 係部署や団体のヒアリングにおける実施件数が目標に届かなかった。

今後の取り組み方針

- ・R6年度目標が達成できなかったヒアリングについては、R7年度事業において再度実施し、関係団体の動向把握や意見などを計画に反映させる。 ・R6年度の業務を踏まえ、全体の構想や課題解決のための戦略・施策を体系化し、改定案をとりまとめる。 ・改定した「浦添市観光振興計画」に基づいて、観光振興に向けた取り組みを推進する。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
11,601	11,601	9,280	2,321	



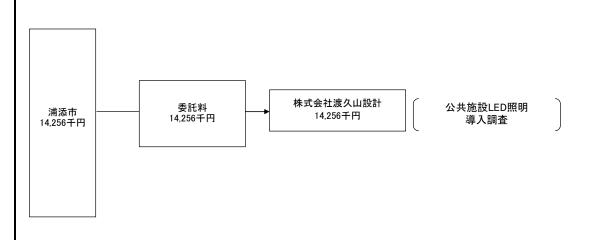
資使金		点 検 項 目	評価に関する説明
後の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、プロポーザル方式により適切に選定され +
が 点れ 検、	0		た。 〇予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保さ れており、妥当である。
評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	れており、安日である。 〇費用・使途については、委託業務の検査において事業 目的達成の観点から、目的に即し必要なものであったと判
			日的達成の観点から、日的に即じ必要なものであったと刊 断した。

市町村名		浦添市												
	Ŷ	和6年度沖	中縄振興特別推	進3	を付金	金事業	(市	町村乡	分)検証	Eシー	卜【红	表用】		
事業番号		21	公共施設LE	D照明	導入記	調査事業			新- 河	4縄21世紀	にビジョン	第4:	 章-1-	(1)ー(ア)
・事業名										本計画該				会の実現に向け 施策の推進
担当部課名	財産領	管理課			業実 定)年		令和	6年度	沖紅	選振興基 該当箇			Ⅲ —10-	
事業内容	脱炭	素島しょ社会の実現	現を目的とした市内公	共施設	とへの高	高効率照	明機器	부(LED) 導	拿入につい	て、計画	的効率的	かに実施す	-るためσ)調査を行う。
効果発現年度		l当年度	■後年度(令和	12年度	隻)									
実施方法		直接実施	■委託 □ネ	甫助		□負担		□その	他()				
			R6年度											
	予	(a) 当初予算額	17,12	-										
	算の	(b) 予算現額 (c) 増減額(b-a)	14,25 -2,86	-			0			0		0		0
	状	(d) 繰越額	•	0			0							0
予算額 · 執行額	況	A. 計(b+d)	14,25				0			0		0		0
【単位:千円】	E	3. 執行済額	14,25	6										
(「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	7	ち交付金充当額	11,40	4									<u> </u>	
	次年度繰越額			0										
	執行	率 (%) (B/A)	100.0	%	#D	IV/0!		#D	IV/0!		#DIV/	0!	#	#DIV/0!
	予算	草の状況の説明	入札結果による執行を	浅額2,8	368 ∓ F	円を令和	6年12	月補正で	減額した。					
		DC江科口	+m / +b+m \							達成	状況			
	R6活動目標(指標)						R6年度							
				E	標	(5	実施) ()	() ()
	公共加	施設LED化に向け	た導入調査の実施	美	ミ 績		実施							,
活動目標(指標)				E	標	() (,)	() ()
及び達成状況					, , ,							, , ,		
				, ,	養									
	達成状況説明	実施体制、業施設(58施設	務責任者、業務実施)に設置されている!!			ついて、							書に基づ	き、調査対象
		R6成果目	標(指標)				F度)		年度					(R12年度)
				E	標	()	(調査	業務委 の実施)	()	()	()
	既存割	設備の状況調査		美	€績		/							
				+-)		業務委 の実施)	,		(
	温室刻	効果ガス削減効果	の試算	-	计标					(,	()	()
成果目標 (指標)				身	€ 績				务委託の実 施					
及び進捗状況		指標】 2年度成果目標		E	標	()	()	()	()	(100% 1,346t)
		施設LED化率 効果ガスの削減量	E	身	€ 績		_	1						
	進 技 実施体制、業務責任者、業務実施者、実施工程表及 されている照明器具について、その種類、数量等につ 試算の結果、削減量目標を以下のとおりとする。 令和12年度までの成果目標 CO2削減量 1,346t									た業務実	施計画書	書に基づき	∵、調査対	(象施設に設置

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	施設数が多いため、各課との調整状況、資材の納入状況によっては工期が不 足する可能性がある。	国は地球温暖化対策計画において、LED等の高効率照明について2030年までに100%を目指しており、本市としても目標を達成するため効率的に事業を進める必要がある。また、ウクライナ情勢の長期化により原油価格は不安定であるため、維持管理費の低減の観点からも早期にLED化を進める必要がある。

調査結果を受けて、導入事業を複数グループに分け発注するなど、業務量を分散し工期を確保するなど早期にLED化を進める。





	資		点 検 項 目	評価に関する説明					
点検評	使金 途の の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	○天江市衆ネは」飢益なるまれて翌ウ」でおり、東北でも					
	点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	- ○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であ たと考えている。 -○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった					
	評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇 本語については、契約額の範囲内で事業目的、仕様に 合致した成果物が完成しており、適切に実施されている。					
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	一百枚しに成未物が元成しており、適切に失他されている					

市町村名		浦添市											
	令	和6年度沖	中縄振興特別推 治	進交	付金	市)業事金	町村	分) 検	正シー	ト【公	表用】		
事業番号 ・事業名	2	22	うらそえ特	産品	等振興	事業		新·	沖縄21世紀	こビジョン	第	4章−3-	-(8)-イ
7 2		<u> </u>		車	業実施	F .			基本計画該		県産品の売上げ拡大促進		げ拡大促進
担当部課名	市民部	³ 経済文化局 産	業振興課		定)年		€~令和1	3年 対	縄振興基 該当箇			Ⅲ 1	7
事業内容		「の地域資源を活 、市内事業者の収	かした新たな商品の開? R益向上を図る。	発支接	曼、マー	-ケティング単	战略∙商品	ブランディ	ング等の則	仮売スキ ル	レ向上支援	、販路	開拓等の支援
効果発現年度		当年度 ——————	□後年度(年度)	1								
実施方法	_ li	直接実施	■委託 □補	助		□負担		D他()		_		
		(a) 当初予算額	R6年度 16,000		R7:	年度	R	8年度		R9年度	Ę	F	110年度
	予	(b) 予算現額	16,000										
		(c) 増減額(b-a)	0			0			0		0		0
予算額・	状況	(d) 繰越額	0										
執行額 【単位:千円】	1	A. 計(b+d)	16,000			0			0		0		0
(「交付金」+	В.	執行済額	15,021										
「市町村負担」 ペース)	う	ち交付金充当額	12,017										
	次年度繰越額												
	執行	率(%)(B/A)	93.9%			V/0!		DIV/0!		#DIV/0			DIV/0!
	予算	の状況の説明	商品開発等にかかる補 支援件数は想定を上回 点に補正減は行ってい]り、事	業の	i件数及び交 完了が3月と	付決定額だっている	が想定よ ため金額	り少なかっ iが確定して	たため不 こおらず、	用額が生じ そのため最	ている 最終交付	。また、伴走 け決定調整時
		DOT EL C	1m / 1+1:1m \						達成	状況			
	R6活動目標(指標)					R6年	度	R7:	年度	R	3年度		R9年度
	セミナー参加			目	標	(30事業者	†)	()	()	()
活動目標		でミナー参加			績	45事業者	Í						
(指標) 及び達成状況				目	標	標 (5事業者)		()		())
	ハンズ	オン支援		実	績	12事業者							
	達成 大・全4回のセミナーにおける参加者は、 ・ハンズオン支援については、市内事意 明									,、目標を	達成するこ	ことがで	きた。
		R6成果目	標(指標)			基準値 (年度)	R	6年度	R74	丰度	R8年J	度	目標値 (年度)
			-トによる「商品開発の	目	標	() (809	6以上)	()	()	()
	伐に立	こった」旨の回答書] fi 	実	績			100%					
	新商品	開発件数		目	標	() (5件		()	()	()
成果目標 (指標)				実	績			4件					
及び進捗状況				目	標	() ()	()	()	()
				実	績								
	進捗状況説明	た・良かったと	対象としたセミナー開作 回答した割合)が100%と 援を受けた市内事業者	なりを	得るこ	とができ目標	を達成し	<i>t</i> =。	—— 商品開発 <i>の</i>)役に立っ	ーーた」旨の回	答割合	(大変良かっ

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) (セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合) ・商品開発および販路開拓に関する支援を継続することで、引き続き本事 (セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合) ・商品開発、販路開拓、PR等の幅広い内容についてセミナーを実施したことが、 アンケートにおける成果目標を達成できた要因と考えられる。 組 業の目的としている市内事業者の育成と収益向上を図る。 の 検 (新商品開発件数) (新商品開発件数) 証 ・新商品開発数5件の実現に向け、事業スケジュールの見直しを進めるとともに、補助事業実施期間を5カ月以上確保するよう努め、商品開発数の ・目標に届かなかった原因として、補助事業の事業実施期間が5カ月未満と短 かった点が考えられる。 増に繋げる。

今後の取り組み方針

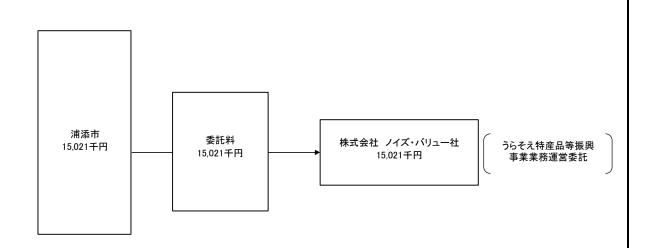
(セミナー参加者アンケートによる「商品開発の役に立った」旨の回答割合) ・セミナー等のメニューを充実させることで参加者増および引き続き満足度の高いセミナーを実施し育成を促すことで、市内事業者のスキル向上や、収益向上を

(新商品開発件数)

・補助事業実施期間の確保や事業者の課題に応じた個別相談や伴走支援を行うことで、本市の地域資源を活かした商品の開発に取り組む。

資金の流れ

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
15,021	15,021	12,017	3,004	



	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使途の点検評価	支金金の	0		〇委託事業者は企画提案によるプロポーザル審査で選定 しており、妥当であったと考えている。				
	か流れる。	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	〇商品開発等に係る補助金の申請件数及び交付決定件額が想定より少なかったため、執行率が93.9%となった				
	字 費 面目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	が、仕様書の内容は全て執行しており予算規模は適正である。				
	•	0		〇費目、使途については精算段階で検査を実施しており、 目的に即し、必要なものであったと判断した。				

市町村名		浦添市														
	f	和6年度河	中縄振興特別	推進	整交	付金	事	業(市	町村	分):	検証	シー	卜【公	表用】		
事業番号		23	産業	振興	計画領	策定事	業				新- 油	縄21世紀	ロビジョン	第	4章−3-	-(1)-イ
- 事業名				- 32.2		14,72	-11					本計画該				携による「稼ぐ
担当部課名	市民	部経済文化局産業	集振興課			と と)年に と)年に			沖縄振興基本方針 該当箇所			カ」と域内自給率の向 ₋ Ⅲ-1-(7)				
事業内容	本市における産業振興の目指すべき姿とその実 ■当年度 □後年度(4					法を示	す産	業振興言	十画を覚	策定す	るため	、計画策	定に必要	要な基礎調	査の実	施を行う。
効果発現年度			□後年度(度)											
実施方法		直接実施		コ補助	助 口負担 口その他			()							
		(a) 当初予算額	R6年度	: 102												
	予	(b) 予算現額		5,103												
	算の	(c) 増減額(b-a)	10	0												
T Mr. LC	状況	(d) 繰越額		0												
予算額 · 執行額	IJί	A. 計 (b+d)	15	,103												
【単位:千円】	E	3. 執行済額	15	5,101												
(「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	=	ち交付金充当額	12	2,081												
.,,	Z	7年度繰越額		0												
	執行	率 (%) (B/A)	10	0.0%												
	又包	草の状況の説明	劫(字(け1000/で)	E 11 A	仕様書の内容を全て完了することができた。											
	卫星	早り1人がり記り	秋1] 李1は100% でか	のり、1	上作來音	할어서	な で3	E (元]	9 0 -	∠n, c:	e1:.					
	R6活動目標(指標)											達成	状況			
								R6年度								
	産業振興計画策定に係る基礎調査の実施				目		(実施)	()	() ()
活動目標						454										
(指標) 及び達成状況					目	標	()	()	() ()
					実	績										
	_															
	達成 状 産業振興計画策定に必要なデータ・情況 え、課題を整理し、基礎調査を実施す 説 明							を の企画	及び実	施、そ	れらの)データヤ	☆調査結:	果等を分析	fし、必引	要な考察を加
		R6成果目	標(指標)		/			準値 年度)		R6年度	Ę					目標値 (R8年度)
					目	標	()	(作成)	()	()	()
	産業	振興計画策定に係	る基礎資料の作成	-	実	績				作成						
(指標)	令和8	指標】 3年度成果目標			目	標	()	()	()	()	(R7年度) に設定)
及び進捗状況	る目標		「の中で、産業振興」 核数値を目標とした原		実	績	/	/								
	進捗状況説明	え、課題を整理	策定に必要なデータ 里し、基礎資料を作り	タ・情報 或する	報の収っことだ	又集や バできた	、調査 た。	₹の企画	及び実	₽施、そ	れらの)データヤ	⊅調査結:	果等を分析	fし、必要	要な考察を加

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・本計画の推進にあたっては、市だけでなく、事業者、市民、関係機関など多様 な主体がそれぞれの役割を担い、協力しながら取り組むことが求められる。	・市、事業者、市民、関係機関などの多様な主体が一体となり、持続可能な産業振興を実現するための協力体制を構築することが必要である。 ・計画の推進体制(計画の進捗状況や評価、検証、修正・追加等のフォローアップ体制)や推進体制の構成メンバー等について示す必要がある。

令和7年度においては、R6年度に実施した基礎調査内容を基に、計画(素案)の作成、関係機関等のヒアリング、パブリックコメントの実施、審議会による答申を 行ったうえで浦添市産業振興計画の策定を行う。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
15,101	15,101	12,081	3,020	



Ada	資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の	立の法	0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルで選定しており、妥当である。					
が点検	れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	「○安託事業有はプロホーサルで選定しており、安ヨであり 「たと考えている。 十○執行率100%であり適正な規模であった。					
評	費目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇教刊学100%であり過止なが後での方式 の費目、使途については精算段階で検査を実施しており、 目的に即し、必要なものであったと判断した。					
100 6	· ·	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	日いにいて、必要なものでのプルと判断した。					

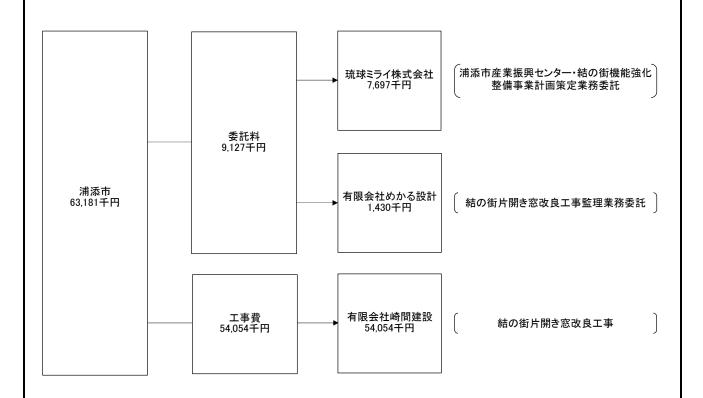
市町村名	浦添市												
	令	和6年度河	中縄振興特別推	進交	付金	事業(市	町村 :	分)検証	Eシー	ト【公	表用】		
事業番号 ・事業名		24	結の街施	設機能	 能強化	事業		新·汝	沖縄21世	ピジョン	第4	.章−3−	(6)-ア
				事	業実施	. A TOO	A 107		本計画該		スター	-トアッ	プの促進
担当部課名	巾氏部	部経済文化局 凡	崔業振興課 ————————————————————————————————————		定)年		~令和7	年 沖	縄振興基 該当箇			Ⅲ −1−	(7)
事業内容		トアップ企業に対 ご本施設の長寿命	する支援の拡充及び、i i化を図る。	記業の)機運	譲成のため、氵	甫添市産	業振興セン	ノター・結(の街の機	能を強化す	る。併·	せて、老朽化
効果発現年度	•	当年度	■後年度(令和8	年度)									
実施方法		直接実施	■委託 □補)					
	_		R6年度		R7	年度	R	8年度		R9年月	ŧ	F	₹10年度
	予	(a) 当初予算額 (b) 予算現額	77,200 77,200										
	鼻	(c) 増減額(b-a)	0			0			0		0		0
予算額・	状況	(d) 繰越額	0										
執行額 【単位:千円】		A. 計 (b+d)	77,200			0			0		0		0
(「交付金」+	В	. 執行済額	63,181										
「市町村負担」 ベース)	<u> </u>	ち交付金充当額	50,545										
		7年度繰越額 	81.8%		#D1	V/0!	#1	DIV/0!		#DIV/	21	+	‡DIV/0!
							DIV/ 0:					FD1V / U:	
	予算	「の状況の説明	不用額については、入 最終交付決定調整時点					の完了が3	月末となっ	っており会	₫額が確定∪	しておら	らず、そのため
									達成	状況			
	R6活動目標(指標)					R6年原	ŧ .	R7年				Π	 R9年度
	整備計画の策定								-12	100	5 十/文		110 — 12
				目	標	(策定)	()	()	()
	ᆂᄱ	一回の来た		実	績	策定							
活動目標(指標)				В	標	(実施)	()	(,	()
及び達成状況	防水化	ヒエ事の実施			125		,					(,
				実	績	実施	,						
	達成			•									
	状況		ト体制構築会議や関係 [:] ついて、結の街東側窓										
	説 明												
		R6成果目	標(指標)		_	基準値 (年度)	R	6年度	R74	年度	R8年月	芰	目標値 (R8年度)
	क /# ≃	十画の策定		目	標	()	(策定)	()	()	()
	金州市	「画の泉た		実	績			策定					
				目	標	()	(完了)	()	()	()
成果目標	防水化	ヒエ事の完了		実	績			完了					
(指標) 及び進捗状況	【参考	指標】		目	標	()) ()	()	()	(30者)
	令和8	3年度成果目標 支援対象者数:30	者	実	績								
	進捗状況説明		−ト体制構築会議や関 こついて、結の街東側							した。			

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(整備計画の策定) 県外の先進施設や、県内の近隣施設を参考に計画策定を行った。 (防水化工事の完了) 窓工事の際に入居者や利用者に配慮した工事の進め方を行った。	年間閉館日の少ない施設なので今後の工事の際は複数期に分けるなど、入居者や利用者に配慮する方法を検討する。

今回策定した整備計画を基に、利用者のニーズや今後10年を見据えた魅力ある機能を備えた施設となるよう実施設計を行う。さらに実施設計をもとに施設の機 能強化・改良工事を実施する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象
費	事業費	充当額	負担金	外経費
63,621	63,181	50,545	12,636	



ほか、交付対象外経費 440千円

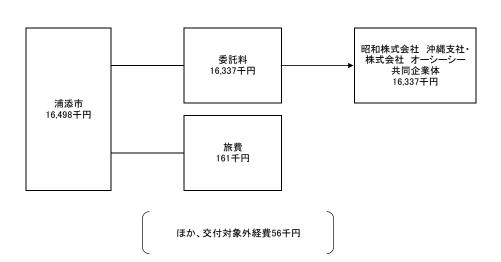
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の流れ	0		○委託事業者はプロポーザル及び特命随意契約で選定 し、工事請負費の業者選定は指名競争入札により実施し					
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	し、工事前員員の来有医とは指有競争人化により実施しており、妥当であったと考えている。 ○入札残による不用額があるが、事業費内で工事を行え					
評費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○人れたによる小田銀かめるが、事業員内で工事を打え たため、予算規模は適正であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、					
			目的に即し、必要なものであったと判断した。					

市町村名		浦添市														
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】																
事業番号		25	牧港補給地区地	b権者 [·]	2権者合意形成促進事業				新・沖縄21世紀ビジョン		第4章-3-(13)-(イ)					
- 事業名									討画該		駐留軍用地跡地利用の早期着 手に向けた取組の推進					
担当部課名	担当部課名 港湾基地政策局 跡地未来課		也未来課		事業実施 令和6年度~ (予定)年度 年度				3和13	沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-8			
事業内容	牧港補給地区返還後の跡地利用の円滑な推進を図るため、地主会若手組織による勉強会等の支援や、市民向けイベント等を開催すること により、地主・市民と行政の連携を強化する。															
効果発現年度		■当年度	□後年度(F(E)							4				
実施方法		■直接実施	■委託 □袝	助		□負担 □その他										
	_	(a) 当初予算額	R6年度 17.15	4	R7年度				R8年月	ŧ		R9年度	Ž	F	110年度	4
	予	(b) 予算現額	17,13													1
	算の	(c) 増減額(b-a)	-12				0				0		0			0
予算額・	状況	(d) 繰越額		0												
執行額 【単位:千円】	.,	A. 計 (b+d)	17,03	0			0				0		0			0
(「交付金」+		B. 執行済額	16,49	8												
「市町村負担」 ペース)		うち交付金充当額	13,19	8												
	次年度繰越額			0									#DD / /C:		4	
	+ 从1	F率(%)(B/A)	96.9	70	#DI	V/0!			#DIV/	#DIV/0! #DIV/		0! #DIV/0!		4		
	予算	草の状況の説明	委託料の精算に伴い	532千日	32千円の執行残が生じた。											
												4				
	R6活動目標(指標)				達成状況											
		11070 307	TENTE IN		R6年度			R7年度 R8			8年度 R9年度					
		地主会若手組織による勉強会等の支援、先進 地視察会、市民向けイベントの開催			標	(実施)) ()	()	()
																-
					€ 績	実施										
活動目標 (指標)				E	標	()) ()	()	()
及び達成状況						Ţ,			ļ .			,		ļ `		
				美	ミ 績											
	達成状況 説説明															
		R6成果目]標(指標)			(基準値 年度)		R6年月	ŧ	R74	年度	R8年	度	目標値 (年度)	
	勉強会の参加者へのアンケート調査で、肯定 的な評価80%以上			E	標	()	(80%)	()	()	()	
				美	ミ 績				94%							1
成果目標				E	標	()	()	()	()	()	1
(指標) 及び進捗状況				美	2 績											1
	進 技 地 地 地 地 地 地 地 地 他 他 の 80%を上回った。 間 の 80%を上回った。										票					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)				
取組の検証	・地主会若手組織による勉強会について、令和6年度は「景観」をテーマにした 内容を実施した。アンケートを分析したところ、講師を招いた勉強会や牧港補給 地区跡地利用イメージVRを活用したことが、肯定的な評価につながったと考え られる。 ・市民向けのイベントでは、市内の小中学生や県内の大学生に向けた取組みを 実施した。跡地利用計画の周知だけでなく、次世代を担う学生達のまちづくりへ の考えを知ることができた。	・参加者が視覚的にイメージしやすいようにVRを活用する等、理解度の向上に努める。				

- ・地主会若手組織に対する支援として、各年度ごとに定めたテーマに基づき勉強会及び先進地視察会を実施していく。 ・まちづくりの将来を担う児童・生徒・学生達に対し、跡地利用計画の周知や、興味・関心を高めるイベントを継続的に実施していく。

総事業	交付対象	交付金	市町村	交付対象		
費	事業費	充当額	負担金	外経費		
16,554	16,498	13,198	3,300			



使途の点検評価・	_	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
	使金の	0	支出先の選定方法は妥当か。	・選定方法について、プロポーザルを実施し契約している ため妥当である。 ・予算規模は、事業内容に見合った適切な規模で確保され			
	点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	ている。 ・委託料及び旅費については、事業の目的のために必要			
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	なものであり、市の条例に基づき執行している。			